
小笠原村個別施設計画

小笠原村

令和5年（2023年）3月

目 次

第1章	個別施設計画策定の背景、目的と位置付け	1
1	策定の背景と目的	1
2	公共施設等総合管理計画と個別施設計画との関係	1
第2章	個別施設計画の対象施設及び計画期間	3
1	対象施設	3
2	計画期間	12
第3章	対象施設を取り巻く現状と課題	13
1	人口動向	13
2	公共施設等の現状と課題	14
第4章	施設の評価及び対策優先順位の考え方	25
1	施設の評価	25
2	対策優先順位の考え方	30
3	方針の種類	32
第5章	施設の評価結果及び今後の方針	33
1	市民文化系施設（村民施設）	33
2	社会教育系施設（郷土資料施設）	35
3	スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設）	36
4	スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設）	39
5	産業系施設（産業施設）	42
6	産業系施設（公共交通関連施設）	45
7	学校教育系施設（教育施設）	47
8	子育て支援施設（保育園）	51
9	保健・福祉系施設（福祉施設）	53
10	医療施設（診療施設）	56
11	行政系施設（庁舎施設）	59
12	行政系施設（消防施設）	62
13	行政系施設（防災施設）	64
14	住宅施設（村民住宅施設）	70
15	住宅施設（医師住宅施設）	72
16	住宅施設（厚生施設）	75
17	供給処理施設（清掃施設）	81

18	その他（火葬場施設）	84
19	その他（便所）	86
20	その他（硫黄島施設）	89
21	公園（公園施設）	91
22	水道（浄水施設）	93
23	下水道（し尿処理施設）	97
第6章	保全計画工程及び更新等費用	101
1	保全計画工程及び更新等費用試算の前提条件	101
2	保全計画工程及び更新等費用の試算結果	105
第7章	今後の対応方針と本計画の実現に向けて	113
1	計画の進捗管理と庁内連携について	113
2	個別施設計画の改訂について	113
3	計画の実現に向けた他計画との整合性について	113

【個別施設計画の記載にあたっての前提】

① 端数処理について

本計画で取り扱う数値は、金額については単位未満で切り捨て、延床面積等については小数点第2位以下を四捨五入する端数処理を基本としているため、表記される合計は一致しない場合があります。

② 調査時点について

本計画に実績値を掲載する場合、数値は、令和4年（2022年）3月31日時点の基本としていますが、それ以外の情報を利用する場合は、その旨を記載しています。

③ 複合施設の計上について

複合施設の場合は、それぞれの分類毎に施設数を計上しているため、実際の施設数とは一致しません。

第1章 個別施設計画策定の背景、目的と位置付け

1 策定の背景と目的

我が国において公共施設等の老朽化対策は大きな課題です。これを受けて、国は地方公共団体に対して、公共施設等の総合かつ計画的な管理を推進するため、「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むことを要請しています。

本村は、東京から約 1,000km 南に位置する父島列島、母島列島、聳島列島・火山列島（硫黄列島）に加え、わが国最東端の南鳥島、最南端の沖ノ鳥島を含む多くの島々から構成されています。公共施設等については、ほとんどが父島（硫黄島の2施設を含む。）と母島にあり、昭和 40 年代から住宅施設をはじめ、学校教育系施設や行政系施設、保健・福祉系施設等、徐々にその施設数と延床面積を増加させてきました。特に、島しょ部という特性上、類似団体と比較して、一時的な居住のための住宅施設等を数多く保有しているほか、津波浸水想定区域に立地している施設が多くなっています。

こうした状況を受け、これまでも、「小笠原村総合計画」や「小笠原村公共施設等総合管理計画」に沿った、公共施設の再編や廃止を検討・実施してきました。また、民間活力の活用を意図した指定管理者制度や業務委託制度の積極的な導入を進めてきました。さらに、組織機構の改革、経費節減等、行政改革の取組に努めてきました。しかしながら、今後も進行することが見込まれる人口減少や少子高齢化の進展、村民ニーズの多様化等による利用状況の変化等、本村の公共施設等を取り巻く環境は予想以上に厳しいものとなっています。

このような現状を踏まえ、これからの公共施設等のあり方を考える公共施設マネジメントに取り組むこととし、その基礎資料として、平成 29 年 3 月に村が所有する公共施設等の全体像と各用途別施設の現状分析をまとめた「小笠原村公共施設等総合管理計画」を策定しました。

さらに、令和 3 年 1 月に総務省より「令和 3 年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について」として、令和 3 年度中に、これまでに行った対策の実績や有形固定資産減価償却率の推移、ユニバーサルデザイン化の方針等、当初計画に不掲載であった内容を盛り込んだ見直しを行うよう示されたことを受けて、令和 5 年 3 月に「小笠原村公共施設等総合管理計画」を改訂しました。

そして、このたび小笠原村公共施設等総合管理計画で示した基本的な方針を踏まえ、施設を総合的な観点で捉え、施設の質的改善も踏まえた大規模改修や長寿命化を目指し、改修時期等を設定することで計画的に長寿命化を進め、コストの縮減と平準化を図ることを目的に、本村が所有する施設について「小笠原村個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定するものです。

2 公共施設等総合管理計画と個別施設計画との関係

「総合管理計画」は公共施設等の管理に関する基本方針を示していますが、これだけでは個別の施設についての詳細な対応方法が示されていないため、施設の効率的な長寿命化等について、具体的な改修方法や更新時期を明確にしていく事が必要となります。

このことから、対象施設や計画期間、対策の優先順位の考え方、個別施設の状態、対策内容と実

施時期、対策費用などの事項を記載した個別施設計画である「本計画」を策定し、「総合管理計画」の下位計画として位置付けるものであり、「本計画」に記載する内容は、今後、各施設の質と量の最適化に係る基本方針を示すものとしします。

なお、本計画における各施設の施設類型の設定については、令和5年3月改訂の総合管理計画における類型を前提としています。

第2章 個別施設計画の対象施設及び計画期間

1 対象施設

「本計画」における対象施設は次の一覧表に示す施設とします。

図表 2-1 対象施設一覧表

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経 過 年 数	延床面積 (㎡)
1-1	市民文化 系施設	村民施設	扇浦交流セ ンター	扇浦交流 センター	1994	27	272.0
2-1	市民文化 系施設	村民施設	奥村交流セ ンター	奥村交流 センター	2013	8	722.6
3-1	市民文化 系施設	村民施設	村民会館	村民会館	1976	45	492.7
4-1	社会教育 系施設	郷土資料 施設	ローズ記念 館	ローズ記 念館	1986	35	90.6
5-1	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	観光施設	小笠原村産 業文化会館 (B-しっ ぽ)	小笠原村 産業文化 会館(B- しっぽ)	1995	26	369.5
6-1	スポー ツ系施設	屋内施設	扇浦レスト ハウス	扇浦レス トハウス	1987	34	77.8
7-1	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	観光施設	元地休憩施 設	元地休憩 施設	1988	33	61.6
8-1	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	観光施設	扇浦園地	扇浦園地 (四阿)	2020	1	36.4
9-1	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	体育施設	奥村運動場	奥村運動 場 管理 棟	1988	33	128.0
9-2	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	体育施設		奥村運動 場 倉 庫・便所 棟	1987	34	72.8

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経 過 年 数	延床面積 (㎡)
9-3	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	体育施設		奥村運動 場 更衣 室棟	2015	6	55.0
10-1	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	体育施設	評議平運動 場	評議平運 動場管理 棟	1991	30	121.0
10-2	スポー ツ・レク リエーシ ョン系施 設	体育施設		評議平運 動場キュ ービクル 室	1992	29	18.0
11-1	産業系施 設	産業施設	海洋センタ ー	海洋セン ター	1981	40	290.2
12-1	産業系施 設	産業施設	三日月山陶 芸小屋	三日月山 陶芸小屋	1982	39	19.9
13-1	産業系施 設	産業施設	亀解体場	亀解体場	1984	37	35.2
14-1	産業系施 設	産業施設	母島特産品 開発普及セ ンター	母島特産 品開発普 及センタ ー	1992	29	279.2
15-1	産業系施 設	公共交通 関連施設	村営バス営 業所	村営バス 営業所	2001	20	34.6
16-1	産業系施 設	公共交通 関連施設	村営バス車 庫	村営バス 車庫	2001	20	139.4
17-1	学校教育 系施設	教育施設	小笠原小学 校	小笠原小 学校校舎	1973	48	1,161.3
17-2	学校教育 系施設	教育施設		小笠原小 学校増築 校舎	1986	35	310.6
18-1	学校教育 系施設	教育施設	小笠原中学 校	小笠原中 学校校舎	1973	48	1,149.5
18-2	学校教育 系施設	教育施設		小笠原中 学校増築 校舎	1989	32	312.0
18-3	学校教育 系施設	教育施設		小笠原小 中学校体 育館	1977	44	846.1

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
18-4	学校教育 系施設	教育施設		小笠原小 中学校プ ール	1977	44	57.7
18-5	学校教育 系施設	教育施設		小笠原小 中学校芝 生管理倉 庫	2012	9	31.8
19-1	学校教育 系施設	教育施設	母島小中学 校	母島小中 学校舎	2005	16	2,395.3
19-2	学校教育 系施設	教育施設		母島小中 学校電気 室・陶芸小 屋	2005	16	48.1
19-3	学校教育 系施設	教育施設		母島小中 中学校プ ール	1977	44	58.5
19-4	学校教育 系施設	教育施設		母島小中 中学校体 育館	1978	43	767.5
20-1	子育て支 援施設	保育園		父島保育園	保育園	1978	43
20-2	子育て支 援施設	保育園	保育園 増築棟		1994	27	49.5
21-1	子育て支 援施設	保育園	母島保育園	村民会館	1976	45	80.0
22-1	保健・福 祉系施設	福祉施設	地域福祉セ ンター	地域福祉 センター	1999	22	2,041.3
22-2	保健・福 祉系施設	福祉施設		地域福祉 センター 倉庫	2000	21	20.8
23-1	保健・福 祉系施設	福祉施設	地域交流施 設（ふらっ とハウス）	地域交流 施設（ふ らっとハ ウス）	1969	52	164.2
24-1	保健・福 祉系施設	福祉施設	有料老人ホ ーム「太陽 の郷」	父島診療 所（複合 施設）	2010	11	918.7
25-1	保健・福 祉系施設	福祉施設	母島高齢者 在宅サー ビスセン ター	母島高齢 者在宅サ ービスセ ンター	2012	9	238.7
26-1	医療施設	診療施設	父島診療所	父島診療	2010	11	1,350.3

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
				所 (複合 施設)			
27-1	医療施設	診療施設	旧父島診療 所 (自家 発電機室)	旧父島診 療所 (自家発 電機室)	1978	43	108.0
28-1	医療施設	診療施設	母島診療所	母島診療 所	1994	27	743.3
28-2	医療施設	診療施設		母島診療 所電気室	1994	27	60.0
29-1	行政系施 設	庁舎施設	小笠原村役 場	村役場第 1庁舎	1984	37	919.1
29-2	行政系施 設	庁舎施設		村役場第 2庁舎	1991	30	823.5
29-3	行政系施 設	庁舎施設		庁舎自家 発電機室	1988	33	15.1
30-1	行政系施 設	庁舎施設	小笠原村情 報センター	小笠原村 情報セン ター	2003	18	246.9
31-1	行政系施 設	庁舎施設	母島支所庁 舎	母島支所 庁舎	1995	26	716.9
32-1	行政系施 設	庁舎施設	防災備蓄倉 庫 (奥村交 流センタ ー)	防災備蓄 倉庫 No.12	2008	13	14.4
33-1	行政系施 設	消防施設	清瀬消防車 庫	清瀬消防 車庫	1995	26	50.0
34-1	行政系施 設	消防施設	診療所前消 防車庫	診療所前 消防車庫	2012	9	50.0
35-1	行政系施 設	消防施設	消防車庫	消防車庫	1991	30	40.0
36-1	行政系施 設	防災施設	防災備蓄倉 庫 (中学 校)	防災備蓄 倉庫 No.3	1999	22	14.4
36-2	行政系施 設	防災施設		防災備蓄 倉庫 No.8	2006	15	14.4
36-3	行政系施 設	防災施設		防災備蓄 倉庫 No.11	2007	14	14.4
37-1	行政系施 設	防災施設	旧父島診療 所 CT 棟 (防災倉	旧父島診 療所 CT 棟 (防	2002	19	47.8

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
			庫)	災倉庫)			
38-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(小笠原村診療所)	防災備蓄倉庫 診療所倉庫 コンテナ	2018	3	46.0
39-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(情報センター内)	防災備蓄倉庫(情報センター内)	2010	11	8.9
40-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(高校)	防災備蓄倉庫 No.5	2001	20	14.4
40-2	行政系施設	防災施設		防災備蓄倉庫 No.10	2007	14	14.4
41-1	行政系施設	防災施設	三日月山中継局	三日月山中継局 (局舎)	2007	14	8.1
42-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(評議平運動場1)	防災備蓄倉庫(評議平運動場)	2016	5	8.9
43-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(評議平運動場2)	防災備蓄倉庫 評議平運動場 コンテナ	2020	1	8.9
44-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(母島診療所1)	防災備蓄倉庫(母島診療所1)	2008	13	8.9
45-1	行政系施設	防災施設	防災備蓄倉庫(母島診療所2)	防災備蓄倉庫(母島診療所2)	2008	13	8.9
46-1	行政系施設	防災施設	母島ハリポート管理小屋	母島ハリポート管理小屋	2002	19	9.0
47-1	行政系施設	防災施設	中ノ平中継局	中ノ平中継局(局舎)	2007	14	61.7
48-1	行政系施設	防災施設	防災用コンテナ(中学)	防災用コンテナ	2018	3	15.9

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
			校)	(中学校 敷2基)			
49-1	行政系施設	防災施設	防災用コンテナ(高校)	防災用コンテナ (高校敷1基)	2018	3	7.9
50-1	住宅施設	村民住宅施設	村営住宅1号棟(一時宿泊所)	村営住宅1号棟 (一時宿泊所)	1985	36	171.9
51-1	住宅施設	村民住宅施設	村営住宅2号棟(硫黄島一時宿泊所)	村営住宅2号棟 (硫黄島一時宿泊所)	1986	35	299.9
52-1	住宅施設	医師住宅施設	奥村医師住宅A号棟	奥村医師住宅A号棟	1978	43	79.6
53-1	住宅施設	医師住宅施設	奥村医師住宅B号棟	奥村医師住宅B号棟	1978	43	79.6
54-1	住宅施設	医師住宅施設	奥村医師住宅C号棟	奥村医師住宅C号棟	1987	34	97.6
55-1	住宅施設	医師住宅施設	母島医師住宅	母島医師住宅	1986	35	100.8
56-1	住宅施設	医師住宅施設	母島歯科医師住宅	母島歯科医師住宅	1996	25	163.0
57-1	住宅施設	厚生施設	清瀬職住8号棟	清瀬職住8号棟	1982	39	763.5
59-1	住宅施設	厚生施設	清瀬職住10号棟 (医療従事者住宅)	清瀬職住10号棟 (医療従事者住宅)	2010	11	454.7
60-1	住宅施設	厚生施設	清瀬職住11号棟	清瀬職住11号棟	2019	2	150.9
61-1	住宅施設	厚生施設	奥村職住3号棟	奥村職住3号棟	1987	34	280.6
62-1	住宅施設	厚生施設	奥村職住4号棟	奥村職住4号棟	1988	33	280.6
63-1	住宅施設	厚生施設	奥村職住5号棟	奥村職住5号棟	1990	31	347.0

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
64-1	住宅施設	厚生施設	奥村職住6号棟	奥村職住6号棟	1993	28	313.0
67-1	住宅施設	厚生施設	宮之浜道職住	宮之浜道職住2号棟	1989	32	147.4
68-1	住宅施設	厚生施設	西町職住	西町職住1号棟	1992	29	154.2
69-1	住宅施設	厚生施設	三日月荘	三日月荘	1972	49	818.0
70-1	住宅施設	厚生施設	三日月山職住	三日月山職住	2011	10	541.1
71-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住4号棟	沖村職住4号棟	1972	49	192.6
72-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住6号棟	沖村職住6号棟	2021	0	185.4
73-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住7号棟	沖村職住7号棟	1980	41	246.9
74-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住8号棟	沖村職住8号棟	1980	41	176.6
75-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住9号棟	沖村職住9号棟	1984	37	143.7
76-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住10号棟	沖村職住10号棟	1984	37	136.4
77-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住11号棟	沖村職住11号棟	1991	30	194.9
78-1	住宅施設	厚生施設	沖村職住12号棟	沖村職住12号棟	1993	28	135.0
79-1	供給処理施設	清掃施設	父島クリーンセンター	父島クリーンセンター工場棟	1998	23	873.2
79-2	供給処理施設	清掃施設		父島クリーンセンター車庫棟	1998	23	98.0
79-3	供給処理施設	清掃施設		父島クリーンセンターストックヤード棟	1998	23	52.5
80-1	供給処理施設	清掃施設	父島埋立処分場	父島埋立処分場浸出水処理棟	2000	21	179.6

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
81-1	供給処理 施設	清掃施設	母島リレー センター	母島リレー センター 中継棟	2002	19	411.5
81-2	供給処理 施設	清掃施設		母島リレー センター ストックヤード 棟	2002	19	97.0
82-1	その他	火葬場施設	父島火葬場	父島火葬場	2006	15	322.6
83-1	その他	火葬場施設	母島火葬場	母島火葬場	1979	42	50.5
84-1	その他	便所	便所（父島 夜明山便 所）	便所（父島 夜明山便 所）	2012	9	13.8
85-1	その他	便所	便所（母島 北港）	便所（母島 北港）	1991	30	6.5
86-1	その他	便所	便所（母島 東港）	便所（母島 東港）	2000	21	4.4
87-1	その他	便所	便所（母島 南崎）	便所（母島 南崎）	2014	7	2.6
88-1	その他	硫黄島施設	硫黄島平和 祈念会館	硫黄島平和 祈念会館	2001	20	476.7
89-1	公園	公園施設	硫黄島島民 平和祈念墓 地公園	硫黄島島民 平和祈念墓 地公園	1989	32	64.0
90-1	公園	公園施設	大根山公園	大根山公園 休憩舎	1993	28	144.2
91-1	水道	浄水施設	清瀬増圧ポ ンプ場	清瀬増圧 ポンプ場	1974	47	30.0
92-1	水道	浄水施設	奥村水道倉 庫	奥村水道 倉庫	1993	28	75.6
93-1	水道	浄水施設	新扇浦浄水 場	新扇浦浄 水場 管 理棟	2015	6	251.1
93-2	水道	浄水施設		新扇浦浄 水場 薬 品棟	2015	6	225.9
93-3	水道	浄水施設		新扇浦浄 水場 イ オン交換	2015	6	134.5

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
				棟			
93-4	水道	浄水施設		新扇浦浄水場 脱 水機棟	2015	6	167.1
93-5	水道	浄水施設		新扇浦浄水場 倉 庫棟	2015	6	46.1
94-1	水道	浄水施設	沖村浄水場	沖村浄水 場管理棟	2016	5	216.8
94-2	水道	浄水施設		沖村浄水 場棟浄水 機棟	2018	3	381.7
94-3	水道	浄水施設		沖村浄水 場着水井 上屋	2021	0	93.9
95-1	下水道	し尿処理 施設	父島し尿処 理場	父島し尿 処理場増 築棟	2001	20	255.9
95-2	下水道	し尿処理 施設		父島し尿 処理場管 理棟	1994	27	613.5
95-3	下水道	し尿処理 施設		父島し尿 処理場	1973	48	388.1
95-4	下水道	し尿処理 施設		父島し尿 処理場水 質試験室	1981	40	51.5
96-1	下水道	し尿処理 施設	清瀬中継ポ ンプ所	清瀬中継 ポンプ所	1973	48	49.2
97-1	下水道	し尿処理 施設	大村中継ポ ンプ所	大村中継 ポンプ所	1973	48	49.2
98-1	下水道	し尿処理 施設	奥村中継ポ ンプ所	奥村中継 ポンプ所	1972	49	15.1
99-1	下水道	し尿処理 施設	母島し尿処 理場	母島し尿 処理場管 理棟	1979	42	325.1
99-2	下水道	し尿処理 施設		母島し尿 処理場脱 水機棟	1979	42	107.7
99-3	下水道	し尿処理 施設		母島し尿 処理場沈 殿地ポン プ室	1979	42	48.3

No	施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数	延床面積 (㎡)
99-4	下水道	し尿処理 施設		母島し尿 処理場車 庫	1977	44	32.4
99-5	下水道	し尿処理 施設		母島し尿 処理場危 険物倉庫	1979	42	5.7
99-6	下水道	し尿処理 施設		母島し尿 処理場薬 品注入室	1990	31	5.7
100- 1	下水道	し尿処理 施設	母島中継ポ ンプ所	母島中継 ポンプ所	1977	44	358.0

2 計画期間

「本計画」の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間と合わせるものとし、令和5年度から令和28年度までの24年間とします。

ただし、社会経済情勢の大きな変化や国、都等の関連計画の策定や変更など、本計画を見直す必要が生じた場合には、適宜見直しを行うこととします。

なお、更新費用等の算定期間については、上位計画である総合管理計画で記載を求められている今後24年間を対象とし、直近5年間（令和5年度～令和9年度）については、予定される工事等の内容を反映しています。

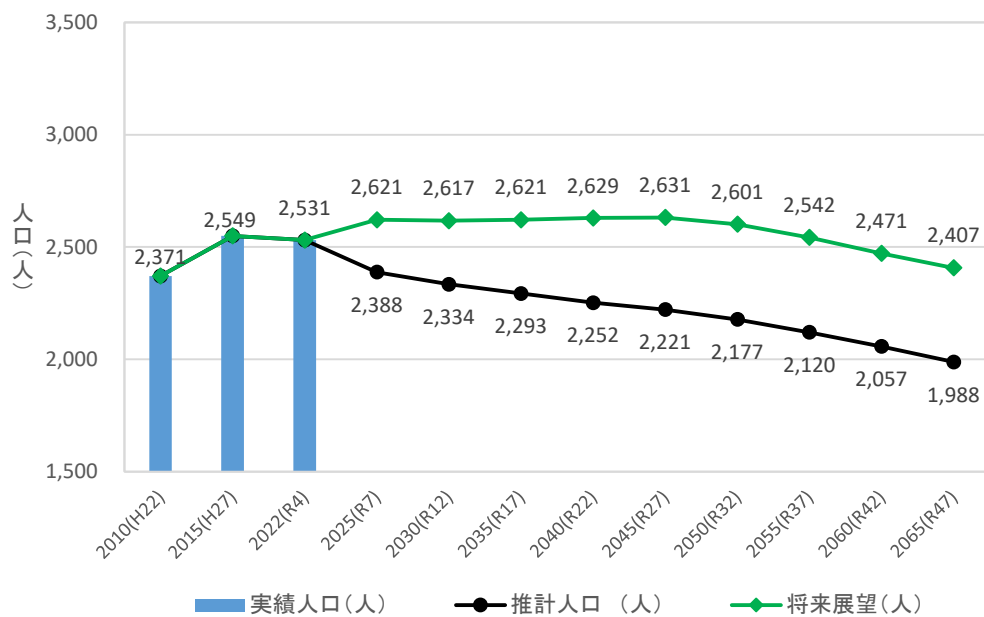
第3章 対象施設を取り巻く現状と課題

1 人口動向

本村の将来人口は、「小笠原村人口ビジョン・総合戦略（第2期）」から、平成27年の2,549人をピークに減少に転じ、令和47年には1,988人まで減少することが見込まれています。

また、将来展望による人口についても、令和27年まで2,600人を超えてほぼ横ばいで推移しますが、令和32年以降は、老年人口の減少を背景に減少していくと予測されています。

図表 3-1 将来人口推計



出典：2015（H27）以前は「国勢調査」（総務省統計局）による。

2022（R4）年の数値は、令和4年4月1日現在の住民基本台帳から集計

2025（R7）以降は「小笠原村人口ビジョン・総合戦略（第2期）」（令和2年3月）

2 公共施設等の現状と課題

1. 市民文化系施設

① 村民施設

○ 扇浦交流センター

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでおり、今後改修や更新が必要です。
- ・ 利用率が非常に高く、貸室の利用予約が取りづらいという問題が起きています（特にイベント開催直前）。

○ 奥村交流センター

- ・ 建築が平成 26 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化、設備の経年劣化は見られません。
- ・ 利用率が非常に高く、貸室の利用予約が取りづらいという問題が起きています（特にイベント開催直前）。

○ 村民会館

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、令和 5、6 年度に別の場所に移転して建物を建設する予定です。なお、移転先は現在の位置よりも高台となる予定です。
- ・ 利用率が非常に高く、貸室の利用予約が取りづらいという問題が起きています（特にイベント開催直前）。

2. 社会教育系施設

① 郷土資料施設

○ ロース記念館

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・ 都指定文化財として長期にわたって保存していくため、屋根（オガサワラビロウの葉によるシュロ）の葺き替えを計画していますが、改修には専門的な技術が必要なため、実施方法も含めて検討しています。
- ・ 母島への観光客と施設利用者が比例しており、一定の需要があると言えます。

3. スポーツ・レクリエーション系施設

① 観光施設

○ 小笠原村商工観光会館（B-しっぴ）

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、経年による建物の老朽化と電気設備に劣化が見られます。
- ・ 会議室の利用率が高く、加えて、事務所部分、会議室ともに手狭になっています。
- ・ 建替え及び規模の拡大が求められますが、同じ敷地内に村営バス営業所があることに留意する必要があります。

○扇浦レストハウス

- ・建築から30年以上経過しており、経年による建物の老朽化と電気設備に劣化が見られます。今後改修や更新が必要です。
- ・海岸沿いに設置されており、海水浴客等から一定の需要があります。

○元地休憩施設

- ・建築から30年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。特に、柱にクラックが生じており、早急な対応が求められています。
- ・海岸沿いに設置されており、海水浴客等から一定の需要があります。

○扇浦園地

- ・比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

②体育施設

○奥村運動場

- ・建築から30年以上経過しており、強風雨時に雨漏りが発生するなど、建物の老朽化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。
- ・村民の運動志向は高く、管理棟も含めて利用率が高くなっています。

○評議平運動場

- ・建築から30年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。

4. 産業系施設

① 産業施設

○海洋センター

- ・建築から40年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいるほか、トイレが狭いという課題があります。
- ・小笠原諸島の生物・海洋資源について学習できる施設として、観光客から一定の需要があります。

○三日月山陶芸小屋

- ・現在稼動していないことから、時期を見て建物を解体します。

○亀解体場

- ・建築から40年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、毎年一定数の利用があること、構造が簡易であることから建替えは行わず、適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○母島特産品開発普及センター

- ・建築から30年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいるほか、生産ラインの機械設備の劣化が見られます。現状の生産体制確保のため、施設及び設備の稼動に支障が出る前に適切な措置を講ずる必要があります。

② 公共交通関連施設

○ 村営バス営業所

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。また、電気設備に劣化が見られます。
- ・ サービス維持のため、建替えを計画していきます。また、建替え時に隣接する小笠原村産業文化会館（B-しっぶ）との複合化も検討します。
- ・ 村営バスは、小中学生の通学にも使われており、一定の需要があります。

○ 村営バス車庫

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。また、他の施設よりも階高が高いため屋根の維持管理に労力がかかるという課題があります。

5. 学校教育系施設

① 教育施設

○ 小笠原小学校

- ・ 建築から 50 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。なお、平成 25 年度に耐震化工事を実施したため、耐震性は確保されています。
- ・ 令和 12 年度（7 月完成・9 月使用開始予定）に小笠原小中学校として建替え予定となっています。小笠原小学校は令和 7 年度まで使用し、令和 9 年度に解体予定となっています。なお、小笠原小学校増築校舎は令和 12 年度に解体予定です。
- ・ 小笠原小中学校体育館は令和 6 年度まで使用し、令和 9 年度に解体予定です。新体育館は令和 6 年度完成予定です。
- ・ 小笠原小学校及び小笠原中学校は、グラウンドの一部及びプールが津波浸水想定区域内に立地しています。
- ・ 夜間、休日は、児童以外による体育館やグラウンド、音楽室などの利用がありません。
- ・ 父島では、習熟度別学習や特別支援教育の充実等により教室数が不足しています。この状況は令和 12 年度に完成する新校舎により解消する見込みです。

○ 小笠原中学校

- ・ 建築から 50 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。なお、平成 25 年度に耐震化工事を実施したため、耐震性は確保されています。
- ・ 令和 12 年度（7 月完成・9 月使用開始予定）に小笠原小中学校として建替え予定となっています。小笠原中学校は令和 12 年度まで使用し、令和 12 年度に解体予定となっています。

○ 母島小中学校

- ・ 建築が平成 17 年度と比較的新しい施設であるため、建物本体の老朽化は見られません。
- ・ 校舎、体育館、グラウンド、プールが津波浸水想定区域内に立地しています。

6. 子育て支援施設

① 保育園

○ 父島保育園

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。建替えにあたっては、現在及び将来の児童数を踏まえた施設規模での建替え及び地域福祉センターの認可外保育施設との統合を検討します。
- ・ 津波浸水想定区域内に立地しており、また、背後にある急斜面への対策及び定員（66 人）を上回る数の児童を受け入れることへの対応が必要です。

○ 母島保育園

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・ 児童数は、近年では 18～25 人程度で推移しており、現時点では児童数が定員を上回る見込みはありません。
- ・ 現在計画されている高台への移転、建替えを実施していきます。建替えにあたっては、併設されている村民会館も同時に移転することとしています。

7. 保健・福祉系施設

① 福祉施設

○ 地域福祉センター

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化に伴う改修を実施しています。
- ・ 貸室を中心に利用率が高くなっています。

○ 地域交流施設（ふらっとハウス）

- ・ 民宿だった建物を村が譲り受け、管理運営を行っている施設で、建築から 50 年以上経過しており、建物の老朽化に伴う改修を実施しています。
- ・ 貸室を中心に利用率が高くなっています。

○ 有料老人ホーム「太陽の郷」

- ・ 建築が平成 22 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られませんが、空調設備に支障が見られます。
- ・ 高齢化に伴う利用者の増加が見込まれます。

○ 母島高齢者在宅サービスセンター

- ・ 建築が平成 24 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られませんが、空調設備に支障が見られます。
- ・ 高齢化に伴う利用者の増加が見込まれます。

8. 医療施設

① 診療施設

○ 父島診療所

- ・ 建築が平成 22 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られませんが、空調設備に支障が見られます。診療機器への影響や利用者の健康状態を考慮

して空調設備の更新が必要です。

- ・利用者の増加に伴う診察待ち時間の増加が見られます。

○ 旧父島診療所（自家発電機室）

・建築から40年以上経過していますが、平成22年度に大規模改修を行っているため、稼動にあたって大きな支障は見られません。また、一部の古い発電機に経年による劣化が見られます。非常時の医療体制を維持するためにも発電機の更新が必要です。

- ・日常的な人の出入りはありません。

○ 母島診療所

・建築から20年以上経過していますが、建物の老朽化に伴う支障は見られません。

9. 行政系施設

① 庁舎施設

○ 小笠原村役場

・建物の老朽化が進んでいますが、老朽化に伴う支障は見られません。
・他の施設と比べて利用者が多いことを踏まえ、建替えを計画していきます。建替えにあたっては、津波浸水想定区域を考慮し、高台への移転を検討するとともに、他の公共施設との複合化も検討します。

○ 小笠原村情報センター

・建物の老朽化が進んでいますが、老朽化に伴う支障は見られません。

○ 母島支所庁舎

・建物の老朽化が進んでいますが、老朽化に伴う支障は見られません。

② 消防施設

○ 清瀬消防車庫

・建築から20年以上経過していますが、屋根・外壁について改修を実施しており、老朽化に伴う支障は見られません。

○ 診療所前消防車庫

・建築から20年も経過しておらず、建物の老朽化は進んでいません。

○ 消防車庫

・建築から30年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。また、津波浸水想定区域内に立地しています。

③ 防災施設

○ 防災備蓄倉庫（中学校）

・建築から20年以上経過しているものの、支障は見られず、改修工事等も予定されていません。

- 旧父島診療所 CT 棟（防災倉庫）
 - ・建築から 20 年近く経過しているものの、支障は見られず、改修工事等も予定されていません。
- 防災備蓄倉庫（小笠原村診療所）
 - ・比較的新しい施設であるため、老朽化は見られません。
- 防災備蓄倉庫（情報センター内）
 - ・比較的新しい施設であるため、老朽化は見られません。
- 防災備蓄倉庫（高校）
 - ・建築から 20 年近く経過しているものの、支障は見られず、改修工事等も予定されていません。
- 三日月山中継局
 - ・建築から 10 年以上経過しており、老朽化が見られますが、支障は見られません。
- 防災備蓄倉庫（評議平運動場 1）
 - ・比較的新しい施設であるため、老朽化は見られません。
- 防災備蓄倉庫（評議平運動場 2）
 - ・比較的新しい施設であるため、老朽化は見られません。
- 防災備蓄倉庫（母島診療所 1）
 - ・建築から 10 年以上経過しており、老朽化が見られますが、支障は見られません。
- 防災備蓄倉庫（母島診療所 2）
 - ・建築から 10 年以上経過しており、老朽化が見られますが、支障は見られません。
- 母島ヘリポート管理小屋
 - ・建築から 20 年近く経過しており、老朽化が見られますが、支障は見られません。
- 中ノ平中継局
 - ・建築から 10 年以上経過しており、老朽化が見られますが、支障は見られません。
- 防災用コンテナ（中学校）
 - ・建築から 3 年と短いものの、島しょ部における塩害、日射による建物への影響が随所に見られるため、継続的なメンテナンスと更新計画が必要です。
- 防災用コンテナ（高校）
 - ・建築から 3 年と短いものの、島しょ部における塩害、日射による建物への影響が随所に見られるため、継続的なメンテナンスと更新計画が必要です。

10. 住宅施設

① 村民住宅施設

○ 村営住宅 1 号棟（一時宿泊所）

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- ・ 帰島者のための一時宿泊所として設置されましたが、現在では一般的な公営住宅として機能しています。しかし、一時宿泊所としての事業目的を達成しているため、現在新たな入居者の募集は行っていません。

○ 村営住宅 2 号棟（硫黄島一時宿泊所）

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

② 医師住宅施設

○ 奥村医師住宅 A 号棟

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

○ 奥村医師住宅 B 号棟

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

○ 奥村医師住宅 C 号棟

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

○ 母島医師住宅

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

○ 母島歯科医師住宅

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

③ 厚生施設

○ 清瀬職住 8 号棟

- ・ 建築から 40 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

○ 清瀬職住 10 号棟（医療従事者住宅）

- ・ 比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

○ 清瀬職住 11 号棟（医療従事者住宅）

- ・ 比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

- 奥村職住 3 号棟
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 奥村職住 4 号棟
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 奥村職住 5 号棟
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 奥村職住 6 号棟
 - ・ 建築から 30 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 宮之浜道職住
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 西町職住
 - ・ 建築から 30 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 三日月荘
 - ・ 建築から 50 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 三日月山職住
 - ・ 比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。
- 沖村職住 4 号棟
 - ・ 令和 4 年度に解体済みです。
- 沖村職住 6 号棟
 - ・ 比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。
- 沖村職住 7 号棟
 - ・ 建築から 40 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 沖村職住 8 号棟
 - ・ 建築から 40 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 沖村職住 9 号棟
 - ・ 建築から 40 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

- 沖村職住 10 号棟
 - ・ 建築から 40 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 沖村職住 11 号棟
 - ・ 建築から 30 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。
- 沖村職住 12 号棟
 - ・ 建築から 30 年近く経過し、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、居住にあたって大きな支障は見られません。

1 1. 供給処理施設

① 清掃施設

- 父島クリーンセンター
 - ・ 建築から 20 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
 - ・ 処理量の不足は見られません。
- 父島埋立処分場
 - ・ 建築から 20 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
 - ・ 処理量の不足は見られません。
- 母島リレーセンター
 - ・ 建築から 20 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
 - ・ 処理量の不足は見られません。

1 2. その他

① 火葬場施設

- 父島火葬場
 - ・ 建築から 10 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。ただし、火葬設備については、一部腐食等の劣化が見受けられます。施設の稼働に支障が出る前に適切な措置を講ずる必要があります。
- 母島火葬場
 - ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。早急な対応が求められます。

② 便所

- 便所（父島夜明山便所）
 - ・ 一定の需要はありますが、供給量の不足は見られません。
- 便所（母島北港）
 - ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいるため、令和 5 年度に建替え予定です。
 - ・ 一定の需要はありますが、供給量の不足は見られません。

- 便所（母島東港）
 - ・一定の需要はありますが、供給量の不足は見られません。
 - ・令和 6 年度に廃止予定です。
- 便所（母島南崎）
 - ・一定の需要はありますが、供給量の不足は見られません。

③ 硫黄島施設

- 硫黄島平和祈念会館
 - ・建築から 20 年以上経過していますが、適切な維持管理をしており、老朽化に伴う支障は見られません。

1 3. 公園

① 公園施設

- 硫黄島島民平和祈念墓地公園
 - ・遠隔にあるため管理が困難となっております。
- 大根山公園
 - ・広大な施設であるため、効率的な維持管理方法を検討する必要があります。

1 4. 水道

① 浄水施設

- 清瀬増圧ポンプ場
 - ・建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいたため、新扇浦浄水場稼働に伴い運用を停止しています。
- 奥村水道倉庫
 - ・建築から 30 年近く経過して老朽化が進んでいます。また、塩害による材料の腐食、台風時の飛散物による軽度の破損等は見られるものの、使用頻度が低いことから、支障は見られません。
- 新扇浦浄水場
 - ・比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。
- 沖村浄水場
 - ・比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

1 5. 下水道

① し尿処理施設

- 父島し尿処理場
 - ・平成 30 年度に大規模改修工事を実施しており、稼働にあたって大きな支障は見られません。
- 清瀬中継ポンプ所
 - ・建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいます。継続的にサービスを提供するため、適切な維持管理方法と効率的な運営方法を検討する必要があります。

- 大村中継ポンプ所
 - ・ 建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいるため、令和 5 年度マンホールポンプへ改築更新を予定しています。
- 奥村中継ポンプ所
 - ・ 建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいたため、令和 4 年 3 月に改築更新しました。
- 母島し尿処理場
 - ・ 建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいます。継続的にサービスを提供するため、適切な維持管理方法と効率的な運営方法を検討する必要があります。
 - ・ 実際の処理水量に見合う設備への更新を計画しています。
- 母島中継ポンプ所
 - ・ 建築から 40 年以上経過して老朽化が進んでいます。継続的にサービスを提供するため、適切な維持管理方法と効率的な運営方法を検討する必要があります。

第4章 施設の評価及び対策優先順位の考え方

1 施設の評価

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価

評価基準は、「劣化状況評価」と「耐用年数評価」に基づいて設定します。なお、評価時点は評価実施の前年度末時点とします。

「劣化状況評価」については、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383568.htm）」の内容を準用し、「耐用年数評価」については、建築保全センター「平成31年度版建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕室監修）の更新周期を準用して評価を実施します。

評価対象とする部位と、各部位の評価基準は以下のとおりです。

図表 4-1-1-1 部位別の評価対象

部位（評価単位）	単位ごとの評価対象
1 屋根・屋上	勾配屋根状況、防水
2 外壁・外部開口部	外壁、塗装、外部仕上げ、外部建具
3 内部仕上	床、壁、天井、内部建具、内部仕上げ
4 電気設備	受変電、電力・電灯、防災、昇降設備
5 給排水衛生設備	給水、排水、給湯、衛生、消火設備
6 空調換気設備	空調、換気

① 劣化状況評価

点検項目の「1 屋根・屋上」と「2 外壁・外部開口部」については、「劣化状況評価」を実施し、劣化状況に応じて a～d のランク付けを行いました。

図表 4-1-1-2 劣化状況評価基準

評価項目	評価	基準
劣化状況評価	a	良好（劣化箇所数 0）
	b	部分的に劣化（劣化箇所数 1～5）
	c	広範囲・全体的に劣化（劣化箇所数 6～9）
	d	早期に修繕が必要（劣化箇所数 10～）

なお、法令点検（建築基準法第12条に基づく定期点検）が実施されている施設に関しては、以下の評価に基づいて「劣化状況評価」に代用することも可能とします。

図表 4-1-1-3 法令点検に基づく劣化状況評価基準

法令点検における指摘有無	分類	評価
無し		a
有り	既存不適格あり	b
	要是正（軽微）※	c
	要是正（重大）	d

※法令点検の結果が、「要是正」であっても、日常活動する上で支障をきたさない場合にはcとします。

② 耐用年数評価

点検項目の「3内部仕上」～「6空調換気設備」については、「耐用年数評価」を実施し、経過年数に応じてa～dのランク付けを行いました。

図表 4-1-1-4 耐用年数評価基準

評価項目	評価	基準
耐用年数評価	a	経過年数が耐用年数内
	b	経過年数が耐用年数超～40年未満
	c	経過年数が40年超
	d	劣化に伴い使用が不可能な状態の施設

なお、小規模施設（50㎡未満の施設）については、劣化状況評価を実施していないため、以下の評価とします。

図表 4-1-1-4 小規模施設の劣化状況評価基準

評価	基準
a	経過年数が10年以内の施設 5年以内に大規模改修を実施済みの施設
b	経過年数が10年超～40年以内の施設
c	経過年数が40年以上の施設
d	劣化に伴い使用が不可能な状態の施設

③ 評価点の算出方法

上記①及び②により求めた部位別の評価に対して、以下の評価点及び配点割合に基づき総合評価点を算定しました。

なお、配点割合については、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書 (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383568.htm)」の内容を参考に設定しています。

図表 4-1-1-5 ハードの評価点算出基準

部位別評価		部位別の配点割合	
評価	評価点	部位	配点割合
a	100点	1 屋根・屋上	5.1
b	75点	2 外壁・外部開口部	17.2
c	40点	3 内部仕上	22.4
d	10点	4 電気設備	8
		5 給排水衛生設備	3.65
		6 空調換気設備	3.65
		合計	60

総合評価点については、A～Dの区分による総合評価を行いました。

図表 4-1-1-6 ハードの総合評価の算定方法

総合評価		総合評価算定事例				
総合評価点	総合評価	部位	評価	評価点	配点割合	評価点×コスト配分
100点	A	1 屋根・屋上	a	100	5.1	510
75点以上	B	2 外壁・外部開口部	c	40	17.2	688
40点以上75点未満	C	3 内部仕上	c	40	22.4	896
40点未満	D	4 電気設備	c	40	8	320
		5 給排水衛生設備	c	40	3.65	146
		6 空調換気設備	c	40	3.65	146
				計	60	2706
					÷60	45.1
					総合評価点	45.1
					総合評価	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価

本村では、ソフト（利用状況・必要性等）の評価を行うにあたり、行政サービス提供需要（その施設が提供するサービスを利用者が求めている程度）の現在の状況や将来の動向、施設を現在の規模で維持することの必要性や施設を現在の位置に配置することの必要性を点数化して評価を行いました。

① 行政サービス提供需要、必要性等による評価の詳細

現在の行政サービス提供需要について「高い」「やや高い」「中」「やや低い」「低い」の5段階、将来の行政サービス提供需要について「増加」「やや増加」「現状維持」「やや減少」「減少」の5段階による評価を行いました。

また、施設を現在の規模で維持することの必要性及び施設を現在の位置に配置することの必要性について、それぞれ「高い」「やや高い」「中」「やや低い」「低い」の5段階による評価を行いました。

これらの評価に応じて a～e のランク付けを行い、配点を行いました。

図表 4-1-2-2 ソフトの評価点算出基準

行政サービス提供需要		必要性		ランク	配点
現在	将来	現在の規模で維持	現在の位置で配置		
高い	増加	高い	高い	a	25.0 点
やや高い	やや増加	やや高い	やや高い	b	20.0 点
中	現状維持	中	中	c	15.0 点
やや低い	やや減少	やや低い	やや低い	d	10.0 点
低い	減少	低い	低い	e	5.0 点

② 評価点の算出方法

上記①及び②により求めた点を合計し、以下のとおりA～Dの区分による総合評価を行いました。

図表 4-1-2-3 ソフトの総合評価の算定方法

総合評価	得点
A	80.0 点以上
B	60.0 点以上 80.0 点未満
C	40.0 点以上 60.0 点未満
D	40.0 点未満

【例】

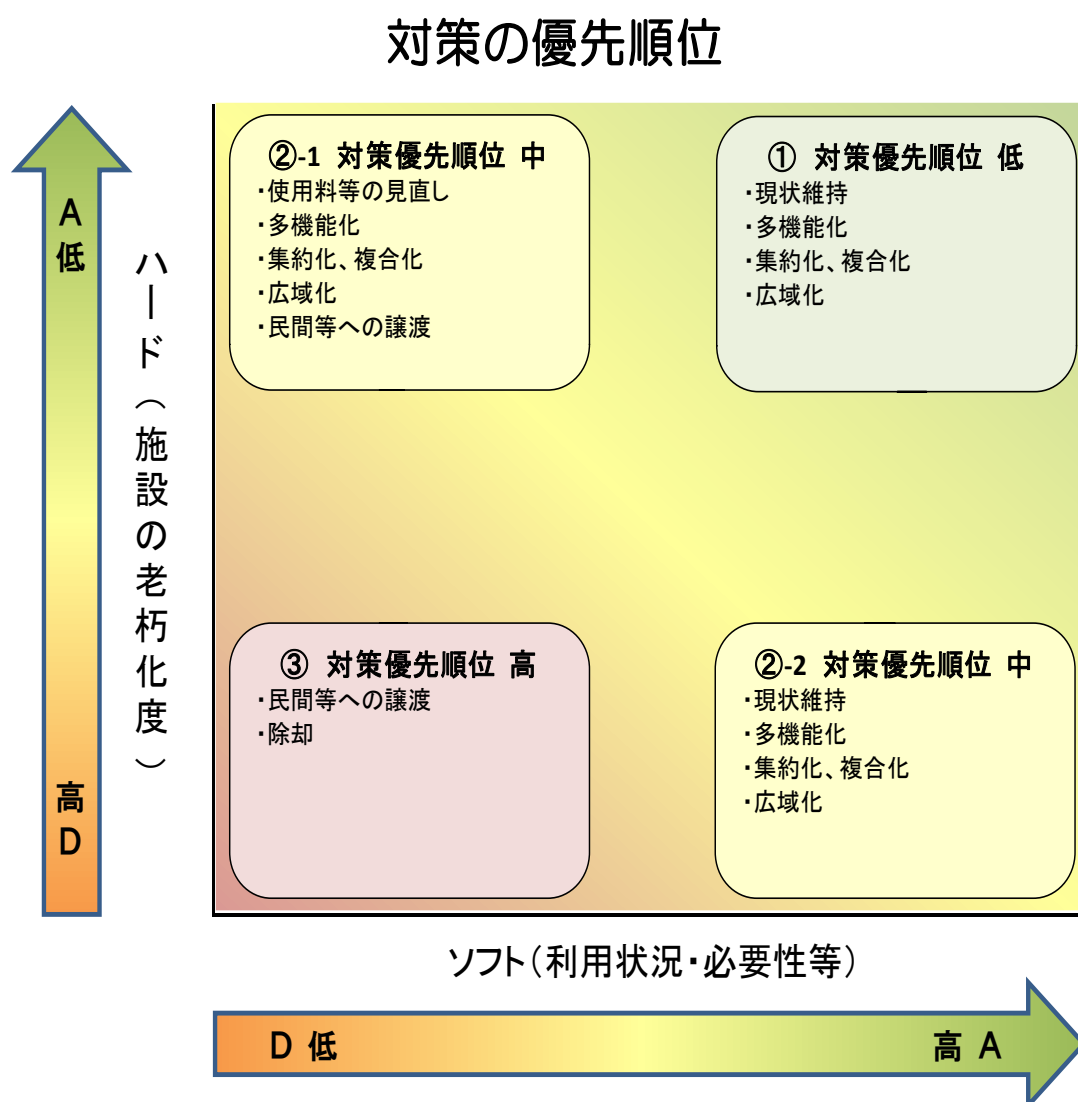
現在の行政サービス提供需要：高い (a)、将来の行政サービス提供需要：やや増加 (b)、施設を現在の規模で維持する必要性：やや高い (b)、施設を現在の位置で配置する必要性：中 (c) の場合

現在の行政サービス提供需要 25.0 点 (a) + 将来の行政サービス提供需要 20.0 点 (b) + 施設を現在の規模で維持する必要性 20.0 点 (b) + 施設を現在の位置で配置する必要性 15.0 点 (c) = 80.0 点 (総合評価 A)

2 対策優先順位の考え方

前述の評価結果を以下の区分に当てはめ、その他の要因等も参考にしながら、施設の対策優先順位付けを行います。ただし、劣化診断により補修等を実施しなければ利用者の安全・安心に関わる部分が判明した場合は、速やかに補修等の対応を実施していくものとします。

図表 4-2-1 対策の優先順位の設定基準



(1)施設の老朽化度が低く、利用状況・必要性等も高い(①対策優先順位 低)

施設の状態(ハード)が健全で利用ニーズ(ソフト)も高いため、予防保全による維持管理を実施し長寿命化を図っていきます。計画の見直し時期には多機能化や集約化等の可能性についてあわせて検討します。

(2)施設の老朽化度は低いが、利用状況・必要性等が低い(②-1対策優先順位 中)

施設の状態(ハード)が健全であるが、利用ニーズ(ソフト)が低いことから、利用ニーズに対応したサービス水準となるよう見直しを行うとともに、施設の多機能化や集約化、民間等への譲渡等、総量を抑制するための検討を行っていきます。

(3)施設の老朽化度は高いが、利用状況・必要性等が高い(②-2対策優先順位 中)

利用ニーズ(ソフト)が高いため、老朽化が進行している施設に対しては、劣化診断の判定結果が好ましくないものから優先的に詳細調査等を実施し、長寿命化等の対策を図っていきます。

また、併せて財政負担の平準化も図る中で、近隣の類似施設との複合化や他施設の多機能化による機能移転、広域利用が可能な施設については広域化についても検討します。

(4)施設の老朽化度が高く、利用状況・必要性等も低い(③対策優先順位 高)

利用ニーズ(ソフト)が低い要因をよく検証するとともに、近隣の類似施設との複合化や他施設の多機能化による機能移転、民間等への譲渡等、あらゆる角度から検討を行い、地域の活性化に向けて可能な限り施設の有効活用に努めます。

3 方針の種類

【存続（総量増加）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新時には現在及び将来の行政サービス需要を踏まえて、施設規模の拡大を検討します。

【存続（総量維持）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新時には現在及び将来の行政サービス需要を踏まえて、現在の施設規模を維持する方向で更新を検討します。

【存続（統合・複合化・多機能化）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新の計画時には、同種又は類似の施設を統合して一体の施設に整備できるか（統合）、または異なる種類の施設を合築して複数機能を持たせ再整備できるか（複合化）、あるいは1つの施設に複数の機能を持たせ再整備できるか（多機能化）を視野に入れて検討します。

【将来的に機能移管】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に他施設への機能を移管し、建物の建替えを行わず機能を廃止します。

【将来的に民間譲渡】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に民間へ施設を譲渡し、機能を廃止します。

【将来的に廃止】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に建物の建替えを行わず機能を廃止します。

第5章 施設の評価結果及び今後の方針

1 市民文化系施設（村民施設）

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価結果

市民文化系施設（村民施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-1-1 ハードの評価結果（市民文化系施設（村民施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根 ・ 屋上	外 壁 ・ 外 部 開 口 部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
扇浦交流センター	扇浦交流センター	1994	27	b	c	b	b	b	a	C
奥村交流センター	奥村交流センター	2013	8	-	-	-	-	-	-	A
村民会館	村民会館	1976	45	c	c	c	c	c	c	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

市民文化系施設（村民施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-1-2 ソフトの評価結果（市民文化系施設（村民施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
扇浦交流センター	扇浦交流センター	やや高い	現状維持	高い	高い	A
奥村交流センター	奥村交流センター	高い	現状維持	高い	高い	A
村民会館	村民会館	高い	やや増加	高い	低い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-1-3 施設別の今後の方針（市民文化系施設（村民施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
扇浦交流センター	扇浦交流センター	C	A	中	存続（総量維持）	
奥村交流センター	奥村交流センター	A	A	低	存続（総量維持）	
村民会館	村民会館	C	B	中	他施設に機能移管	老朽化に伴い現在とは別の場所に建設する施設に移転する方針

2 社会教育系施設（郷土資料施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

社会教育系施設（郷土資料施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-2-1 ハードの評価結果（社会教育系施設（郷土資料施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総合 評価
コース記念館	コース記念館	1986	35	d	b	b	b	b	b	C

（2）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

社会教育系施設（郷土資料施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-2-2 ソフトの評価結果（社会教育系施設（郷土資料施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
コース記念館	コース記念館	高い	現状維持	高い	高い	A

（3）施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-2-3 施設別の今後の方針（社会教育系施設（郷土資料施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事項
		ハード	ソフト			
コース記念館	コース記念館	C	A	中	存続（総量維持）	

3 スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設）

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価結果

スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-3-1 ハードの評価結果（スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
小笠原村産業文化会館（B-ショップ）	小笠原村産業文化会館（B-ショップ）	1995	26	b	b	b	b	b	a	B
扇浦レストハウス	扇浦レストハウス	1987	34	b	b	b	b	b	-	B
元地休憩施設	元地休憩施設	1988	33	a	c	b	b	b	-	C
扇浦園地	扇浦園地（四阿）	2020	1	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-3-2 ソフトの評価結果（スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
小笠原村産業文化会館（B-しっぴ）	小笠原村産業文化会館（B-しっぴ）	高い	現状維持	高い	やや高い	A
扇浦レストハウス	扇浦レストハウス	高い	現状維持	高い	高い	A
元地休憩施設	元地休憩施設	高い	現状維持	高い	高い	A
扇浦園地	扇浦園地（四阿）	中	現状維持	中	高い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-3-3 施設別の今後の方針（スポーツ・レクリエーション系施設（観光施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
小笠原村産業文化会館（B-しっぶ）	小笠原村産業文化会館（B-しっぶ）	B	A	低	存続（総量維持）	
扇浦レストハウス	扇浦レストハウス	B	A	低	存続（総量維持）	
元地休憩施設	元地休憩施設	C	A	中	存続（総量維持）	
扇浦園地	扇浦園地（四阿）	A	B	低	存続（総量維持）	

4 スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-4-1 ハードの評価結果（スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根 ・ 屋上	外壁 ・ 外部開口部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
奥村運動場	奥村運動場 管理棟	1988	33	b	c	b	b	b	-	C
	奥村運動場 倉庫・便所棟	1987	34	b	c	b	b	b	-	C
	奥村運動場 更衣室棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
評議平運動場	評議平運動場管理棟	1991	30	b	c	b	b	b	a	C
	評議平運動場キュービクル室	1992	29	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-4-2 ソフトの評価結果（スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
奥村運動場	奥村運動場 管理棟	中	現状維持	高い	高い	A
	奥村運動場 倉庫・便所棟	中	現状維持	高い	高い	A
	奥村運動場 更衣室棟	中	やや増加	高い	高い	A
評議平運動場	評議平運動場管理棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	評議平運動場キュービクル室	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-4-3 施設別の今後の方針（スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
奥村運動場	奥村運動場管理棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	奥村運動場倉庫・便所棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	奥村運動場更衣室棟	A	A	低	存続（総量維持）	
評議平運動場	評議平運動場管理棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	評議平運動場キュービクル室	B	A	低	存続（総量維持）	

5 産業系施設（産業施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

産業系施設（産業施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-5-1 ハードの評価結果（産業系施設（産業施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
海洋センター	海洋センター	1981	40	a	a	b	a	b	b	B
三日月山陶芸小屋	三日月山陶芸小屋	1982	39	-	-	-	-	-	-	B
亀解体場	亀解体場	1984	37	-	-	-	-	-	-	B
母島特産品開発 普及センター	母島特産品開発普 及センター	1992	29	b	c	b	b	b	a	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

産業系施設（産業施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-5-2 ソフトの評価結果（産業系施設（産業施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
海洋センター	海洋センター	高い	現状維持	高い	高い	A
三日月山陶芸 小屋	三日月山陶芸小 屋	低い	減少	低い	低い	D
亀解体場	亀解体場	高い	現状維持	やや高 い	中	B
母島特産品開 発普及センタ ー	母島特産品開発 普及センター	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-5-3 施設別の今後の方針（産業系施設（産業施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
海洋センター	海洋センター	B	A	低	存続（総量維持）	
三日月山陶芸小屋	三日月山陶芸小屋	B	D	高	将来的に機能廃止	
亀解体場	亀解体場	B	B	中	存続（総量維持）	
母島特産品開発普及センター	母島特産品開発普及センター	C	A	中	存続（総量維持）	

6 産業系施設（公共交通関連施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

産業系施設（公共交通関連施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-6-1 ハードの評価結果（産業系施設（公共交通関連施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総合 評価
村営バス営業所	村営バス営業所	2001	20	-	-	-	-	-	-	B
村営バス車庫	村営バス車庫	2001	20	a	b	b	a	a	-	B

（2）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

産業系施設（公共交通関連施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-6-2 ソフトの評価結果（産業系施設（公共交通関連施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
村営バス営業所	村営バス営業所	高い	やや増加	高い	高い	A
村営バス車庫	村営バス車庫	高い	やや増加	高い	やや高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-6-3 施設別の今後の方針（産業系施設（公共交通関連施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
村営バス営業所	村営バス営業所	B	A	低	存続（総量維持）	
村営バス車庫	村営バス車庫	B	A	低	存続（総量維持）	

7 学校教育系施設（教育施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

学校教育系施設（教育施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-7-1 ハードの評価結果（学校教育系施設（教育施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
小笠原小学校	小笠原小学校校舎	1973	48	b	b	c	c	c	c	C
	小笠原小学校増築校舎	1986	35	b	b	b	b	b	b	B
小笠原中学校	小笠原中学校校舎	1973	48	b	b	c	c	c	c	C
	小笠原中学校増築校舎	1989	32	b	b	b	b	b	b	B
	小笠原小中学校体育館	1977	44	b	b	c	c	c	-	C
	小笠原小中学校プール	1977	44	-	-	-	-	-	-	C
	小笠原小中学校芝生管理倉庫	2012	9	-	-	-	-	-	-	A
母島小中学校	母島小中学校校舎	2005	16	a	a	b	a	a	a	B
	母島小中学校電気室・陶芸小屋	2005	16	-	-	-	-	-	-	B
	母島小中学校プール	1977	44	b	b	c	c	c	-	C
	母島小中学校体育館	1978	43	b	b	c	c	c	-	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

学校教育系施設（教育施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-7-2 ソフトの評価結果（学校教育系施設（教育施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
小笠原小学校	小笠原小学校校舎	高い	現状維持	高い	高い	A
	小笠原小学校増築校舎	高い	現状維持	高い	高い	A
小笠原中学校	小笠原中学校校舎	高い	現状維持	高い	高い	A
	小笠原中学校増築校舎	高い	現状維持	高い	高い	A
	小笠原小中学校体育館	中	現状維持	高い	高い	A
	小笠原小中学校プール	低い	現状維持	高い	高い	B
	小笠原小中学校芝生管理倉庫	低い	減少	低い	低い	D
母島小中学校	母島小中学校校舎	中	現状維持	高い	高い	A
	母島小中学校電気室・陶芸小屋	中	現状維持	高い	高い	A
	母島小中学校プール	中	現状維持	高い	高い	A
	母島小中学校体育館	中	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-7-3 施設別の今後の方針（学校教育系施設（教育施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
小笠原小学校	小笠原小学校校舎	C	A	中	存続（総量維持）	
	小笠原小学校増築校舎	B	A	低	存続（総量維持）	
小笠原中学校	小笠原中学校校舎	C	A	中	存続（総量維持）	
	小笠原中学校増築校舎	B	A	低	存続（総量維持）	
	小笠原小中学校体育館	C	A	中	存続（総量維持）	
	小笠原小中学校プール	C	B	中	存続（総量維持）	
	小笠原小中学校芝生管理倉庫	A	D	中	他施設に機能移管	新たに建設する小笠原小中学校に機能移管

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
母島小中学校	母島小中学校 舎	B	A	低	存続（総量維 持）	
	母島小中学校 電気室・陶芸小 屋	B	A	低	存続（総量維 持）	
	母島小中学校 プール	C	A	中	存続（総量維 持）	
	母島小中学校 体育館	C	A	中	存続（総量維 持）	

8 子育て支援施設（保育園）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

子育て支援施設（保育園）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-8-1 ハードの評価結果（子育て支援施設（保育園））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
父島保育園	保育園	1978	43	a	b	a	a	c	c	B
	保育園 増築棟	1994	27	-	-	-	-	-	-	B
母島保育園	村民会館	1976	45	c	c	c	c	c	c	C

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

子育て支援施設（保育園）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-8-2 ソフトの評価結果（子育て支援施設（保育園））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
父島保育園	保育園	やや高い	現状維持	高い	中	B
	保育園 増築棟	やや高い	現状維持	高い	中	B
母島保育園	村民会館	高い	やや増加	高い	低い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-8-3 施設別の今後の方針（子育て支援施設（保育園））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
父島保育園	保育園	B	B	中	存続（総量維持）	
	保育園 増築棟	B	B	中	存続（総量維持）	
母島保育園	村民会館	C	B	中	他施設に機能移管	老朽化に伴い現在とは別の場所に建設する施設に移転する方針

9 保健・福祉系施設（福祉施設）

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価結果

保健・福祉系施設（福祉施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-9-1 ハードの評価結果（保健・福祉系施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口 部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
地域福祉センター	地域福祉センター	1999	22	b	b	b	b	b	a	B
	地域福祉センター 倉庫	2000	21	-	-	-	-	-	-	B
地域交流施設 (ふらっとハウス)	地域交流施設 (ふ らっとハウス)	1969	52	c	c	c	c	c	c	C
有料老人ホーム 「太陽の郷」	父島診療所 (複合 施設)	2010	11	a	a	a	a	b	c	B
母島高齢者在宅 サービスセンター	母島高齢者在宅サ ービスセンター	2012	9	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

保健・福祉系施設（福祉施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-9-2 ソフトの評価結果（保健・福祉系施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
地域福祉センター	地域福祉センター	やや高い	やや増加	高い	中	A
	地域福祉センター 倉庫	やや高い	やや増加	高い	中	A
地域交流施設（ふらっとハウス）	地域交流施設（ふらっとハウス）	やや低い	やや減少	やや低い	低い	D
有料老人ホーム「太陽の郷」	父島診療所（複合施設）	高い	現状維持	高い	高い	A
母島高齢者在宅サービスセンター	母島高齢者在宅サービスセンター	やや高い	やや増加	高い	中	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-9-3 施設別の今後の方針（保健・福祉系施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
地域福祉センター	地域福祉センター	B	A	低	存続（総量増加）	
	地域福祉センター 倉庫	B	A	低	存続（総量維持）	
地域交流施設（ふらっとハウス）	地域交流施設（ふらっとハウス）	C	D	高	将来的に機能移管	他の施設の更新に併せて今後のあり方を検討
有料老人ホーム「太陽の郷」	父島診療所（複合施設）	B	A	低	存続（総量維持）	
母島高齢者在宅サービスセンター	母島高齢者在宅サービスセンター	A	A	低	存続（総量維持）	

10 医療施設（診療施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

医療施設（診療施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-10-1 ハードの評価結果（医療施設（診療施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
父島診療所	父島診療所（複合 施設）	2010	11	a	a	a	a	b	c	B
旧父島診療所 （自家発電機 室）	旧父島診療所 （自家発電機室）	1978	43	b	b	c	c	c	c	C
母島診療所	母島診療所	1994	27	b	b	b	b	b	a	B
	母島診療所電気室	1994	27	b	b	b	b	b	a	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

医療施設（診療施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-10-2 ソフトの評価結果（医療施設（診療施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
父島診療所	父島診療所（複 合施設）	高い	現状維 持	高い	高い	A
旧父島診療所 （自家発電機 室）	旧父島診療所 （自家発電機室）	高い	現状維 持	高い	高い	A
母島診療所	母島診療所	高い	現状維 持	高い	高い	A
	母島診療所電気 室	高い	現状維 持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-10-3 施設別の今後の方針（医療施設（診療施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
父島診療所	父島診療所 (複合施設)	B	A	低	存続（総量維持）	
旧父島診療所 (自家発電機室)	旧父島診療所 (自家発電機室)	C	A	中	存続（総量維持）	
母島診療所	母島診療所	B	A	低	存続（総量維持）	
	母島診療所電気室	B	A	低	存続（総量維持）	

1.1 行政系施設（庁舎施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（庁舎施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-11-1 ハードの評価結果（行政系施設（庁舎施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
小笠原村役場	村役場第1庁舎	1984	37	c	c	b	b	b	b	C
	村役場第2庁舎	1991	30	a	a	b	b	b	b	B
	庁舎自家発電機室	1988	33	-	-	-	-	-	-	B
小笠原村情報センター	小笠原村情報センター	2003	18	a	a	b	a	a	a	B
母島支所庁舎	母島支所庁舎	1995	26	a	a	b	b	b	b	B
防災備蓄倉庫 (奥村交流センター)	防災備蓄倉庫 No.12	2008	13	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（庁舎施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-11-2 ソフトの評価結果（行政系施設（庁舎施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
小笠原村役場	村役場第1庁舎	高い	現状維持	高い	やや低い	B
	村役場第2庁舎	高い	現状維持	高い	やや低い	B
	庁舎自家発電機室	高い	現状維持	高い	やや低い	B
小笠原村情報センター	小笠原村情報センター	高い	やや増加	高い	高い	A
母島支所庁舎	母島支所庁舎	高い	現状維持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫（奥村交流センター）	防災備蓄倉庫 No.12	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-11-3 施設別の今後の方針（行政系施設（庁舎施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
小笠原村役場	村役場第1庁舎	C	B	中	存続（総量維持）	
	村役場第2庁舎	B	B	中	存続（総量維持）	
	庁舎自家発電機室	B	B	中	存続（総量維持）	
小笠原村情報センター	小笠原村情報センター	B	A	低	存続（総量維持）	
母島支所庁舎	母島支所庁舎	B	A	低	存続（総量維持）	
防災備蓄倉庫（奥村交流センター）	防災備蓄倉庫 No.12	B	A	低	存続（総量維持）	

1 2 行政系施設（消防施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（消防施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-12-1 ハードの評価結果（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	建設年度(年)	経過年数(年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
清瀬消防車庫	清瀬消防車庫	1995	26	a	a	b	b	b	a	B
診療所前消防車庫	診療所前消防車庫	2012	9	-	-	-	-	-	-	A
消防車庫	消防車庫	1991	30	-	-	-	-	-	-	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（消防施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-12-2 ソフトの評価結果（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
清瀬消防車庫	清瀬消防車庫	高い	現状維持	高い	中	A
診療所前消防車庫	診療所前消防車庫	高い	現状維持	高い	高い	A
消防車庫	消防車庫	高い	現状維持	高い	やや低い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-12-3 施設別の今後の方針（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
清瀬消防車庫	清瀬消防車庫	B	A	低	存続（総量維持）	
診療所前消防車庫	診療所前消防車庫	A	A	低	存続（総量維持）	
消防車庫	消防車庫	B	B	中	存続（総量維持）	

1.3 行政系施設（防災施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（防災施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-13-1 ハードの評価結果（行政系施設（防災施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
防災備蓄倉庫 (中学校)	防災備蓄倉庫 No.3	1999	22	-	-	-	-	-	-	B
	防災備蓄倉庫 No.8	2006	15	-	-	-	-	-	-	B
	防災備蓄倉庫 No.11	2007	14	-	-	-	-	-	-	B
旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	旧父島診療所 CT 棟（防災倉庫）	2002	19	-	-	-	-	-	-	B
防災備蓄倉庫 (小笠原村診療所)	防災備蓄倉庫 診療所倉庫コンテナ	2018	3	-	-	-	-	-	-	A
防災備蓄倉庫 (情報センター内)	防災備蓄倉庫(情報センター内)	2010	11	-	-	-	-	-	-	B
防災備蓄倉庫 (高校)	防災備蓄倉庫 No.5	2001	20	-	-	-	-	-	-	B
	防災備蓄倉庫 No.10	2007	14	-	-	-	-	-	-	B
三日月山中継局	三日月山中継局 (局舎)	2007	14	-	-	-	-	-	-	B

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
防災備蓄倉庫 (評議平運動場 1)	防災備蓄倉庫 (評議平運動場)	2016	5	-	-	-	-	-	-	A
防災備蓄倉庫 (評議平運動場 2)	防災備蓄倉庫 評議平運動場テナ	2020	1	-	-	-	-	-	-	A
防災備蓄倉庫 (母島診療所 1)	防災備蓄倉庫 (母島診療所 1)	2008	13	-	-	-	-	-	-	B
防災備蓄倉庫 (母島診療所 2)	防災備蓄倉庫 (母島診療所 2)	2008	13	-	-	-	-	-	-	B
母島ヘリポート 管理小屋	母島ヘリポート管理小屋	2002	19	-	-	-	-	-	-	B
中ノ平中継局	中ノ平中継局 (局舎)	2007	14	b	a	b	b	-	-	B
防災用テナ (中学校)	防災用テナ (中学校敷 2 基)	2018	3	-	-	-	-	-	-	A
防災用テナ (高校)	防災用テナ (高校敷 1 基)	2018	3	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（防災施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-13-2 ソフトの評価結果（行政系施設（防災施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
防災備蓄倉庫（中学校）	防災備蓄倉庫 No.3	高い	現状維持	高い	高い	A
	防災備蓄倉庫 No.8	高い	現状維持	高い	高い	A
	防災備蓄倉庫 No.11	高い	現状維持	高い	高い	A
旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	高い	現状維持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫（小笠原村診療所）	防災備蓄倉庫 診療所倉庫コンテナ	高い	現状維持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫（情報センター内）	防災備蓄倉庫（情報センター内）	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
防災備蓄倉庫（高校）	防災備蓄倉庫 No.5	高い	現状維持	高い	高い	A
	防災備蓄倉庫 No.10	高い	現状維持	高い	高い	A
三日月山中継局	三日月山中継局（局舎）	高い	現状維持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫（評議平運動場1）	防災備蓄倉庫（評議平運動場）	高い	現状維持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫（評議平運動場2）	防災備蓄倉庫 評議平運動場コンテナ	高い	現状維持	高い	高い	A

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
防災備蓄倉庫 (母島診療所 1)	防災備蓄倉庫(母 島診療所 1)	高い	現状維 持	高い	高い	A
防災備蓄倉庫 (母島診療所 2)	防災備蓄倉庫(母 島診療所 2)	高い	現状維 持	高い	高い	A
母島ヘリポー ト管理小屋	母島ヘリポート 管理小屋	高い	現状維 持	高い	高い	A
中ノ平中継局	中ノ平中継局(局 舎)	高い	現状維 持	高い	高い	A
防災用コンテ ナ(中学校)	防災用コンテナ (中学校敷 2 基)	高い	現状維 持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-13-3 施設別の今後の方針（行政系施設（防災施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
防災備蓄倉庫 (中学校)	防災備蓄倉庫 No.3	B	A	低	存続（総量維持）	
	防災備蓄倉庫 No.8	B	A	低	存続（総量維持）	
	防災備蓄倉庫 No.11	B	A	低	存続（総量維持）	
旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	B	A	低	存続（総量維持）	
防災備蓄倉庫 (小笠原村診療所)	防災備蓄倉庫 診療所倉庫コンテナ	A	A	低	存続（総量維持）	
防災備蓄倉庫 (情報センター内)	防災備蓄倉庫 (情報センター内)	B	B	中	存続（総量維持）	
防災備蓄倉庫 (高校)	防災備蓄倉庫 No.5	B	A	低	存続（総量維持）	
	防災備蓄倉庫 No.10	B	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
三日月山中継局	三日月山中継局(局舎)	B	A	低	存続(総量維持)	
防災備蓄倉庫 (評議平運動場1)	防災備蓄倉庫 (評議平運動場)	A	A	低	存続(総量維持)	
防災備蓄倉庫 (評議平運動場2)	防災備蓄倉庫 評議平運動場 コンテナ	A	A	低	存続(総量維持)	
防災備蓄倉庫 (母島診療所1)	防災備蓄倉庫 (母島診療所1)	B	A	低	存続(総量維持)	
防災備蓄倉庫 (母島診療所2)	防災備蓄倉庫 (母島診療所2)	B	A	低	存続(総量維持)	
母島ヘリポート 管理小屋	母島ヘリポート 管理小屋	B	A	低	存続(総量維持)	
中ノ平中継局	中ノ平中継局 (局舎)	B	A	低	存続(総量維持)	
防災用コンテナ (中学校)	防災用コンテナ (中学校敷2基)	A	A	低	存続(総量維持)	
防災備蓄倉庫 (中学校)	防災備蓄倉庫 No.3	A	A	低	存続(総量維持)	

1.4 住宅施設（村民住宅施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

住宅施設（村民住宅施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-14-1 ハードの評価結果（住宅施設（村民住宅施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
村営住宅1号棟 (一時宿泊所)	村営住宅1号棟 (一時宿泊所)	1985	36	a	a	b	b	b	a	B
村営住宅2号棟 (硫黄島一時宿 泊所)	村営住宅2号棟 (硫黄島一時宿 泊所)	1986	35	a	a	b	b	b	a	B

（2）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

住宅施設（村民住宅施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-14-2 ソフトの評価結果（住宅施設（村民住宅施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
村営住宅1号 棟（一時宿 泊所）	村営住宅1号棟 (一時宿泊所)	低い	減少	低い	低い	D
村営住宅2号 棟（硫黄島一 時宿泊所）	村営住宅2号棟 (硫黄島一時宿 泊所)	中	やや減 少	中	中	C

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-14-3 施設別の今後の方針（住宅施設（村民住宅施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
村営住宅1号棟（一時宿泊所）	村営住宅1号棟（一時宿泊所）	B	D	高	将来的に機能廃止	
村営住宅2号棟（硫黄島一時宿泊所）	村営住宅2号棟（硫黄島一時宿泊所）	B	C	中	存続（総量維持）	

1.5 住宅施設（医師住宅施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

住宅施設（医師住宅施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-15-1 ハードの評価結果（住宅施設（医師住宅施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
奥村医師住宅A 号棟	奥村医師住宅A号 棟	1978	43	b	a	c	c	c	c	C
奥村医師住宅B 号棟	奥村医師住宅B号 棟	1978	43	a	b	c	c	c	c	C
奥村医師住宅C 号棟	奥村医師住宅C号 棟	1987	34	a	a	b	b	b	a	B
医師住宅	医師住宅	1986	35	b	b	b	b	b	a	B
歯科医師住宅	歯科医師住宅	1996	25	b	b	b	b	b	a	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

住宅施設（医師住宅施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-15-2 ソフトの評価結果（住宅施設（医師住宅施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
奥村医師住宅 A号棟	奥村医師住宅A 号棟	高い	現状維持	高い	低い	B
奥村医師住宅 B号棟	奥村医師住宅B 号棟	高い	現状維持	高い	低い	B
奥村医師住宅 C号棟	奥村医師住宅C 号棟	高い	現状維持	高い	低い	B
医師住宅	医師住宅	高い	現状維持	高い	低い	B
歯科医師住宅	歯科医師住宅	高い	現状維持	高い	低い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-15-3 施設別の今後の方針（住宅施設（医師住宅施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
奥村医師住宅 A号棟	奥村医師住宅 A号棟	C	B	中	存続（総量維持）	
奥村医師住宅 B号棟	奥村医師住宅 B号棟	C	B	中	存続（総量維持）	
奥村医師住宅 C号棟	奥村医師住宅 C号棟	B	B	中	存続（総量維持）	
医師住宅	医師住宅	B	B	中	存続（総量維持）	
歯科医師住宅	歯科医師住宅	B	B	中	存続（総量維持）	

16 住宅施設（厚生施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

住宅施設（厚生施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-16-1 ハードの評価結果（住宅施設（厚生施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
清瀬職住8号棟	清瀬職住8号棟	1982	39	b	b	b	b	b	a	B
清瀬職住10号棟（医療従事者住宅）	清瀬職住10号棟	2010	11	a	a	a	a	b	a	A
清瀬職住11号棟	清瀬職住11号棟	2019	2	-	-	-	-	-	-	A
奥村職住3号棟	奥村職住3号棟	1987	34	b	b	b	b	b	a	B
奥村職住4号棟	奥村職住4号棟	1988	33	b	a	b	b	b	a	B
奥村職住5号棟	奥村職住5号棟	1990	31	a	a	b	b	b	a	B
奥村職住6号棟	奥村職住6号棟	1993	28	b	a	b	b	b	a	B
宮之浜道職住	宮之浜道職住2号棟	1989	32	b	b	b	b	b	a	B
西町職住	西町職住1号棟	1992	29	b	b	b	b	b	a	B
三日月荘	三日月荘	1972	49	c	c	b	b	b	a	C
三日月山職住	三日月山職住	2011	10	a	a	a	a	a	a	A
沖村職住4号棟	沖村職住4号棟	1972	49	令和4年度に解体済み						
沖村職住6号棟	沖村職住6号棟	2021	0	-	-	-	-	-	-	A
沖村職住7号棟	沖村職住7号棟	1980	41	c	c	a	a	c	a	C
沖村職住8号棟	沖村職住8号棟	1980	41	c	c	a	a	c	a	C
沖村職住9号棟	沖村職住9号棟	1984	37	b	c	b	b	b	a	C
沖村職住10号棟	沖村職住10号棟	1984	37	a	b	a	b	b	a	B

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
沖村職住11号棟	沖村職住11号棟	1991	30	a	b	b	b	b	a	B
沖村職住12号棟	沖村職住12号棟	1993	28	a	c	b	b	b	a	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

住宅施設（厚生施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-16-2 ソフトの評価結果（住宅施設（厚生施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
清瀬職住 8 号棟	清瀬職住 8 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
清瀬職住 10 号棟（医療従事者住宅）	清瀬職住 10 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
清瀬職住 11 号棟	清瀬職住 11 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
奥村職住 3 号棟	奥村職住 3 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
奥村職住 4 号棟	奥村職住 4 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
奥村職住 5 号棟	奥村職住 5 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
奥村職住 6 号棟	奥村職住 6 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
宮之浜道職住	宮之浜道職住 2 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
西町職住	西町職住 1 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
三日月荘	三日月荘	高い	現状維持	高い	高い	A
三日月山職住	三日月山職住	高い	現状維持	高い	高い	A
沖村職住 4 号棟	沖村職住 4 号棟	令和 4 年度に解体済み				
沖村職住 6 号棟	沖村職住 6 号棟	高い	現状維持	高い	高い	A

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
沖村職住7号棟	沖村職住7号棟	高い	増加	高い	高い	A
沖村職住8号棟	沖村職住8号棟	高い	減少	高い	高い	A
沖村職住9号棟	沖村職住9号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
沖村職住10号棟	沖村職住10号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
沖村職住11号棟	沖村職住11号棟	高い	現状維持	高い	高い	A
沖村職住12号棟	沖村職住12号棟	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-16-3 施設別の今後の方針（住宅施設（厚生施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
清瀬職住8号棟	清瀬職住8号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
清瀬職住10号棟 （医療従事者住宅）	清瀬職住10号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
清瀬職住11号棟	清瀬職住11号棟	A	A	低	存続（総量維持）	
奥村職住3号棟	奥村職住3号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
奥村職住4号棟	奥村職住4号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
奥村職住5号棟	奥村職住5号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
奥村職住6号棟	奥村職住6号棟	B	A	低	存続（総量維持）	
宮之浜道職住	宮之浜道職住2号棟	B	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項	
		ハード	ソフト				
西町職住	西町職住1号棟	B	A	低	存続（総 量維持）		
三日月荘	三日月荘	C	A	中	存続（総 量維持）		
三日月山職住	三日月山職住	A	A	低	存続（総 量維持）		
沖村職住4号棟	沖村職住4号棟	令和4年度に解体済み					
沖村職住6号棟	沖村職住6号棟	A	A	低	存続（総 量維持）		
沖村職住7号棟	沖村職住7号棟	C	A	中	存続（総 量増加）		
沖村職住8号棟	沖村職住8号棟	C	A	中	他施設に 機能移管		
沖村職住9号棟	沖村職住9号棟	C	A	中	将来的に 機能廃止		
沖村職住10号棟	沖村職住10号棟	B	A	低	存続（総 量維持）		
沖村職住11号棟	沖村職住11号棟	B	A	低	存続（総 量維持）		
沖村職住12号棟	沖村職住12号棟	C	A	中	存続（総 量維持）		

17 供給処理施設（清掃施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

供給処理施設（清掃施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-17-1 ハードの評価結果（供給処理施設（清掃施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
父島クリーンセンター	父島クリーンセンター工場棟	1998	23	b	b	b	b	b	a	B
	父島クリーンセンター車庫棟	1998	23	b	b	b	b	-	-	B
	父島クリーンセンターストックヤード棟	1998	23	b	b	b	b	-	-	B
父島埋立処分場	父島埋立処分場浸出水処理棟	2000	21	b	b	b	b	b	a	B
母島リレーセンター	母島リレーセンター中継棟	2002	19	a	c	b	a	c	a	C
	母島リレーセンターストックヤード棟	2002	19	a	c	a	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

供給処理施設（清掃施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-17-2 ソフトの評価結果（供給処理施設（清掃施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
父島クリーンセンター	父島クリーンセンター工場棟	高い	やや減少	やや高い	やや高い	B
	父島クリーンセンター車庫棟	高い	やや減少	やや高い	やや高い	B
	父島クリーンセンターストックヤード棟	高い	やや減少	やや高い	やや高い	B
父島埋立処分場	父島埋立処分場浸出水処理棟	高い	やや減少	やや高い	やや高い	B
母島リレーセンター	母島リレーセンター中継棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	母島リレーセンターストックヤード棟	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-17-3 施設別の今後の方針（供給処理施設（清掃施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
父島クリーンセンター	父島クリーンセンター工場棟	B	B	中	存続（総量維持）	
	父島クリーンセンター車庫棟	B	B	中	存続（総量維持）	
	父島クリーンセンターストックヤード棟	B	B	中	存続（総量維持）	
父島埋立処分場	父島埋立処分場浸出水処理棟	B	B	中	存続（総量維持）	
母島リレーセンター	母島リレーセンター中継棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	母島リレーセンターストックヤード棟	B	A	低	存続（総量維持）	

18 その他（火葬場施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他（火葬場施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-18-1 ハードの評価結果（その他（火葬場施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
父島火葬場	父島火葬場	2006	15	a	a	a	a	b	a	B
母島火葬場	母島火葬場	1979	42	b	c	c	c	c	c	C

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

その他（火葬場施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-18-2 ソフトの評価結果（その他（火葬場施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
父島火葬場	父島火葬場	高い	現状維持	高い	高い	A
母島火葬場	母島火葬場	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-18-3 施設別の今後の方針（その他（火葬場施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
父島火葬場	父島火葬場	B	A	低	存続（総量維持）	
母島火葬場	母島火葬場	C	A	中	存続（総量維持）	

19 その他（便所）

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他（便所）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-19-1 ハードの評価結果（その他（便所））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
便所（父島夜明 山便所）	便所（父島夜明山 便所）	2012	9	-	-	-	-	-	-	A
便所（母島北 港）	便所（母島北港）	1991	30	-	-	-	-	-	-	D
便所（母島東 港）	便所（母島東港）	2000	21	-	-	-	-	-	-	D
便所（母島南 崎）	便所（母島南崎）	2014	7	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

スポーツ・レクリエーション系施設（体育施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-19-2 ソフトの評価結果（その他（便所））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
便所（父島夜明山便所）	便所（父島夜明山便所）	高い	現状維持	高い	高い	A
便所（母島北港）	便所（母島北港）	高い	現状維持	高い	高い	A
便所（母島東港）	便所（母島東港）	低い	減少	低い	低い	D
便所（母島南崎）	便所（母島南崎）	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-19-3 施設別の今後の方針（その他（便所））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
便所（父島夜明山便所）	便所（父島夜明山便所）	A	A	低	存続（総量維持）	
便所（母島北港）	便所（母島北港）	D	A	中	将来的に機能廃止	母島観光協会にて新設することに伴い撤去予定
便所（母島東港）	便所（母島東港）	D	D	高	将来的に機能廃止	
便所（母島南崎）	便所（母島南崎）	A	A	低	存続（総量維持）	

20 その他（硫黄島施設）

（1）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他（硫黄島施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-20-1 ハードの評価結果（その他（硫黄島施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口 部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
硫黄島平和祈 念会館	硫黄島平和祈 念会館	2001	20	a	a	b	a	b	b	B

（2）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

その他（硫黄島施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-20-2 ソフトの評価結果（その他（硫黄島施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
硫黄島平和祈 念会館	硫黄島平和祈 念会館	やや高 い	現状維 持	やや高 い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-20-3 施設別の今後の方針（その他（硫黄島施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
硫黄島平和祈念会館	硫黄島平和祈念会館	B	A	低	存続（総量維持）	

21 公園（公園施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

公園（公園施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-21-1 ハードの評価結果（公園（公園施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
硫黄島島民平和 祈念墓地公園	硫黄島島民平和祈 念墓地公園	1989	32	a	a	a	-	-	-	A
大根山公園	大根山公園休憩舎	1993	28	a	a	a	a	a	-	A

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

公園（公園施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-21-2 ソフトの評価結果（公園（公園施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総 合 評 価
		現在	将来			
硫黄島島民平和 祈念墓地公園	硫黄島島民平和祈 念墓地公園	中	現状維 持	中	高い	B
大根山公園	大根山公園休憩 舎	中	現状維 持	中	高い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-21-3 施設別の今後の方針（公園（公園施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
硫黄島島民平和祈念墓地公園	硫黄島島民平和祈念墓地公園	A	B	低	存続（総量維持）	
大根山公園	大根山公園休憩舎	A	B	低	存続（総量維持）	

22 水道（浄水施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道（浄水施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-22-1 ハードの評価結果（水道（浄水施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口 部	内 部 仕 上	電 気 設 備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
清瀬増圧ポンプ 場	清瀬増圧ポンプ場	1974	47	-	-	-	-	-	-	C
奥村水道倉庫	奥村水道倉庫	1993	28	b	b	b	b	a	a	B
新扇浦浄水場	新扇浦浄水場 管 理棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
	新扇浦浄水場 薬 品棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
	新扇浦浄水場 イ オン交換棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
	新扇浦浄水場 脱 水機棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
	新扇浦浄水場 倉 庫棟	2015	6	-	-	-	-	-	-	A
沖村浄水場	沖村浄水場管理棟	2016	5	-	-	-	-	-	-	A
	沖村浄水場棟浄水 機棟	2018	3	a	a	a	a	a	a	A
	沖村浄水場着水井 上屋	2021	0	a	a	a	a	a	a	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道（浄水施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-22-2 ソフトの評価結果（水道（浄水施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
清瀬増圧ポンプ場	清瀬増圧ポンプ場	低い	減少	低い	低い	D
奥村水道倉庫	奥村水道倉庫	低い	減少	中	中	C
新扇浦浄水場	新扇浦浄水場管理棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	新扇浦浄水場薬品棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	新扇浦浄水場イオン交換棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	新扇浦浄水場脱水機棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	新扇浦浄水場倉庫棟	高い	現状維持	高い	高い	A
沖村浄水場	沖村浄水場管理棟	高い	やや減少	やや高い	高い	A
	沖村浄水場棟浄水機棟	高い	現状維持	高い	高い	A
	沖村浄水場着水井上屋	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-22-3 施設別の今後の方針（水道（浄水施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
清瀬増圧ポンプ場	清瀬増圧ポンプ場	C	D	低	他施設に機能移管	上下水道施設については、建物だけでなく、設備を含めた全体計画が必要であり、企業会計適用後の経営戦略において検討する予定
奥村水道倉庫	奥村水道倉庫	B	C	中	存続（総量維持）	
新扇浦浄水場	新扇浦浄水場管理棟	A	A	低	存続（総量維持）	
	新扇浦浄水場薬品棟	A	A	低	存続（総量維持）	
	新扇浦浄水場イオン交換棟	A	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハード	ソフト			
	新扇浦浄水場 脱水機棟	A	A	低	存続（総量維 持）	
	新扇浦浄水場 倉庫棟	A	A	低	存続（総量維 持）	
沖村浄水場	沖村浄水場管 理棟	A	A	低	存続（総量維 持）	
	沖村浄水場棟 浄水機棟	A	A	低	存続（総量維 持）	
	沖村浄水場着 水井上屋	A	A	低	存続（総量維 持）	

23 下水道（し尿処理施設）

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価結果

下水道（し尿処理施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-23-1 ハードの評価結果（下水道（し尿処理施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給 排 水 衛 生 設 備	空 調 換 気 設 備	総 合 評 価
父島し尿処 理場	父島し尿処理場増築棟	2001	20	b	d	b	a	-	d	C
	父島し尿処理場管理棟	1994	27	a	b	b	b	b	a	B
	父島し尿処理場	1973	48	a	a	a	a	-	a	A
	父島し尿処理場水質試 験室	1981	40	b	b	a	a	a	a	B
清瀬中継ポ ンプ所	清瀬中継ポンプ所	1973	48	-	-	-	-	-	-	C
大村中継ポ ンプ所	大村中継ポンプ所	1973	48	-	-	-	-	-	-	C
奥村中継ポ ンプ所	奥村中継ポンプ所	1972	49	-	-	-	-	-	-	C
母島し尿処 理場	母島し尿処理場管理棟	1979	42	b	c	c	c	c	a	C
	母島し尿処理場脱水機 棟	1979	42	b	b	c	c	c	-	C
	母島し尿処理場沈殿地 ポンプ室	1979	42	-	-	-	-	-	-	C
	母島し尿処理場車庫	1977	44	-	-	-	-	-	-	C
	母島し尿処理場危険物 倉庫	1979	42	-	-	-	-	-	-	C
	母島し尿処理場薬品注 入室	1990	31	-	-	-	-	-	-	B
母島中継ポ ンプ所	母島中継ポンプ所	1977	44	a	b	c	c	c	c	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

下水道（し尿処理施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-23-2 ソフトの評価結果（下水道（し尿処理施設））

施設名称	建物名称	行政サービス提供需要		現在の規模での必要性	現在の位置での必要性	総合評価
		現在	将来			
父島し尿処理場	父島し尿処理場増築棟	高い	現状維持	中	高い	A
	父島し尿処理場管理棟	高い	現状維持	中	高い	A
	父島し尿処理場	高い	現状維持	中	高い	A
	父島し尿処理場水質試験室	高い	現状維持	中	高い	A
清瀬中継ポンプ所	清瀬中継ポンプ所	高い	現状維持	低い	高い	B
大村中継ポンプ所	大村中継ポンプ所	高い	現状維持	低い	高い	B
奥村中継ポンプ所	奥村中継ポンプ所	高い	現状維持	中	高い	A
母島し尿処理場	母島し尿処理場管理棟	高い	現状維持	中	高い	A
	母島し尿処理場脱水機棟	高い	現状維持	低い	高い	B
	母島し尿処理場沈殿地ポンプ室	高い	現状維持	低い	高い	B
	母島し尿処理場車庫	高い	現状維持	低い	高い	B
	母島し尿処理場危険物倉庫	高い	現状維持	低い	高い	B
	母島し尿処理場薬品注入室	高い	現状維持	低い	高い	B
母島中継ポンプ所	母島中継ポンプ所	高い	現状維持	中	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-23-3 施設別の今後の方針（下水道（し尿処理施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
父島し尿処理場	父島し尿処理場増築棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	父島し尿処理場管理棟	B	A	低	存続（総量維持）	
	父島し尿処理場	A	A	低	存続（総量維持）	
	父島し尿処理場水質試験室	B	A	低	存続（総量維持）	
清瀬中継ポンプ所	清瀬中継ポンプ所	C	B	中	存続（総量維持）	
大村中継ポンプ所	大村中継ポンプ所	C	B	中	存続（総量維持）	
奥村中継ポンプ所	奥村中継ポンプ所	C	A	中	存続（総量維持）	
母島し尿処理場	母島し尿処理場管理棟	C	A	中	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
	母島し尿処理 場脱水機棟	C	B	中	存続（総量維 持）	
	母島し尿処理 場沈殿地ポン プ室	C	B	中	存続（総量維 持）	
	母島し尿処理 場車庫	C	B	中	存続（総量維 持）	
	母島し尿処理 場危険物倉庫	C	B	中	存続（総量維 持）	
	母島し尿処理 場薬品注入室	B	B	中	存続（総量維 持）	
母島中継ポン プ所	母島中継ポン プ所	C	A	中	存続（総量維 持）	

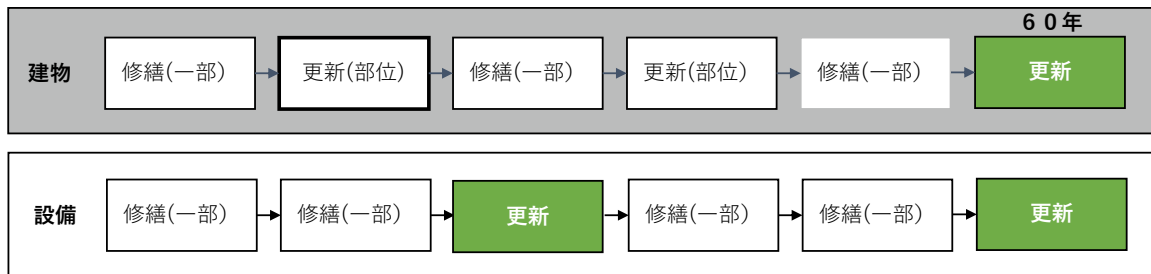
第6章 保全計画工程及び更新等費用

1 保全計画工程及び更新等費用試算の前提条件

(1) 基本的な考え方

- 建替えや改修の実施が具体的に計画され、更新費用が試算済の場合は、当該金額が発生するものと仮定します。
- 建物部位（屋根・外部）及び設備の計画的な修繕や更新により、長寿命化を図ります。

図表 6-1-1 公共施設の更新に対する基本的な考え方



- 建物（躯体）については、更新年数（長寿命化する場合の設定周期）経過後に現在と同じ延床面積で更新すると仮定し、更新単価に延床面積を乗じることにより、更新費用を試算します。
- 建物部位及び設備については、建物（躯体）と同様に延床面積に更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。

(2) 更新周期

- 建物（躯体）の更新周期は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考に、目標耐用年数を設定します。

図表 6-1-2-1 建物（躯体）の更新周期

構造	更新（年）
鉄筋コンクリート	60
鉄骨鉄筋コンクリート	60
鉄骨	60
軽量鉄骨	40
コンクリートブロック	60
木造	40

- 建物部位及び設備の更新周期は、以下の「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年版国土交通省）」の周期を参考に下記のとおり設定します。

図表 6-1-2-2 建物部位及び設備の更新周期

区分	更新周期（年）
	更新
屋根	20
外部	15
受変電	25
空調	15
給排水衛生	15
消火	30
昇降機	30

なお、建物部位及び設備の劣化状況評価結果をもとに上記更新周期を踏まえて下記の通り残余年数を設定します。

図表 6-1-2-3 建物部位及び設備の残余年数

評価	残余年数（年）
a	更新周期×1.0
b	更新周期×0.6
c	更新周期×0.2
d	1

(3) 更新単価

- m²当たりの単価は、一般財団法人地域総合整備財団による「公共施設更新費用試算ソフト」により設定されている単価に島しょ工事費指数（父島 1.85、母島 1.90）を割り増した単価を用います。
- 硫黄島の建築系公共施設の更新単価については、父島の建築系公共施設と同様の単価を用います。

図表 6-1-3-1 建物（躯体）の更新単価

区分	大規模改修			建替え		
	父島	母島	標準	父島	母島	標準
市民文化系施設	46.25	47.50	25	74.00	76.00	40
社会教育系施設	46.25	47.50	25	74.00	76.00	40
スポーツ・レクリエーション系施設	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36
産業系施設	46.25	47.50	25	74.00	76.00	40
学校教育系施設	31.45	32.30	17	61.05	62.70	33
子育て支援施設	31.45	32.30	17	61.05	62.70	33
保健・福祉施設	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36
医療施設	46.25	47.50	25	74.00	76.00	40
行政系施設	46.25	47.50	25	74.00	76.00	40
住宅施設	31.45	32.30	17	51.80	53.20	28
供給処理施設	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36
その他	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36
公園	31.45	32.30	17	61.05	62.70	33
水道	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36
下水道	37.00	38.00	20	66.60	68.40	36

- 建物部位及び設備の更新単価は、昇降機を除いて以下の「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年版国土交通省）」の「表 3-2-48 建築の修繕コスト（概算/学校_Case3）」及び「表 3-2-49 電気設備の修繕コスト」の平均値に物価変動等を考慮して、建設工事費デフレーターを用いて平成 17 年度（2005 年度）を令和 2 年度（2020 年度）に換算し、島しょ工事費指数（父島 1.85、母島 1.90）を割り増して下記のとおり設定します。昇降機については、直近の施設整備における見積をもとに設定しました。

図表 6-1-3-2 建物部位及び設備の更新単価

区分	更新単価	
	父島	母島
屋根	10,860 円/㎡	11,153 円/㎡
外部	12,748 円/㎡	13,092 円/㎡
受変電	3,132 円/㎡	3,217 円/㎡
空調	1,542 円/㎡	1,584 円/㎡
給排水衛生	5,103 円/㎡	5,241 円/㎡
消火	1,063 円/㎡	1,092 円/㎡
昇降機	17,840,000 円/基	

2 保全計画工程及び更新等費用の試算結果

建物単位の各対策費用（第6章1参照）合計と、今後5年以内に予定される主な改修等の内容は、以下のとおりです。

図表 6-2-1 建物別の更新等費用の試算結果

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度（千円）	令和10年度～令和28年度（千円）	今後5年以内に予定される主な工事等
1-1	扇浦交流センター	扇浦交流センター	3,467	202,668	
2-1	奥村交流センター	奥村交流センター	0	21,859	
3-1	村民会館	村民会館	0	0	解体工事、建築工事(複合施設のため費用は母島保育園に合算額を記載)
4-1	ローズ記念館	ローズ記念館	1,010	71,587	
5-1	小笠原村産業文化会館（B-ショップ）	小笠原村産業文化会館（B-ショップ）	0	18,168	
6-1	扇浦レストハウス	扇浦レストハウス	0	3,621	
7-1	元地休憩施設	元地休憩施設	806	2,138	
8-1	扇浦園地	扇浦園地（四阿）	0	860	
9-1	奥村運動場	奥村運動場管理棟	1,632	4,464	
9-2		奥村運動場倉庫・便所棟	928	2,461	
9-3		奥村運動場更衣室棟	0	1,383	
10-1	評議平運動場	評議平運動場管理棟	1,584	4,334	
10-2		評議平運動場キュービクル室	0	730	
11-1	海洋センター	海洋センター	0	220,654	

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度(千円)	令和10年度～令和28年度(千円)	今後5年以内に予定される主な工事等
12-1	三日月山陶芸小屋	三日月山陶芸小屋	0	0	
13-1	亀解体場	亀解体場	0	27,130	
14-1	母島特産品開発普及センター	母島特産品開発普及センター	3,656	11,342	
15-1	村営バス営業所	村営バス営業所	0	1,863	
16-1	村営バス車庫	村営バス車庫	0	5,778	
17-1	小笠原小学校	小笠原小学校校舎	2,820,083	3,297,274	解体工事、小笠原小中学校として建築工事
17-2		小笠原小学校増築校舎			
18-1	小笠原中学校	小笠原中学校校舎			
18-2		小笠原中学校増築校舎			
18-3		小笠原小中学校体育館			解体工事、建築工事
18-4		小笠原小中学校プール			
18-5		小笠原小中学校芝生管理倉庫			
19-1	母島小中学校	母島小中学校校舎	0	77,038	
19-2		母島小中学校電気室・陶芸小屋	0	2,509	
19-3		母島小中学校プール	307	38,162	
19-4		母島小中学校体育館	4,022	500,682	
20-1	父島保育園	保育園	1,857	227,386	
20-2		保育園 増築棟	0	2,005	
21-1	母島保育園	村民会館	994,145	18,045	解体工事、建築工事
22-1	地域福祉センター	地域福祉センター	56,447	74,340	外装改修工事、空調機更新工事

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度(千円)	令和10年度～令和28年度(千円)	今後5年以内に予定される主な工事等
22-2		地域福祉センター 倉庫	0	14,358	
23-1	地域交流施設(ふらっとハウス)	地域交流施設(ふらっとハウス)	4,967	112,702	
24-1	有料老人ホーム「太陽の郷」	父島診療所(複合施設)	160,000	69,136	空調機更新工事
25-1	母島高齢者在宅サービスセンター	母島高齢者在宅サービスセンター	0	7,415	
26-1	父島診療所	父島診療所(複合施設)	2,082	49,175	
27-1	旧父島診療所(自家発電機室)	旧父島診療所(自家発電機室)	35,551	82,584	発電機更新工事
28-1	母島診療所	母島診療所	0	36,358	
28-2		母島診療所電気室	0	2,934	
29-1	小笠原村役場	村役場第1庁舎	73,697	698,912	キュービクル交換工事
29-2		村役場第2庁舎	0	31,260	
29-3		庁舎自家発電機室	0	610	
30-1	小笠原村情報センター	小笠原村情報センター	0	7,732	
31-1	母島支所庁舎	母島支所庁舎	0	30,253	
32-1	防災備蓄倉庫(奥村交流センター)	防災備蓄倉庫 No.12	0	524	
33-1	清瀬消防車庫	清瀬消防車庫	0	1,691	
34-1	診療所前消防車庫	診療所前消防車庫	0	1,435	
35-1	消防車庫	消防車庫	0	2,085	
36-1	防災備蓄倉庫(中学校)	防災備蓄倉庫 No.3	0	10,996	
36-2		防災備蓄倉庫 No.8	333	10,996	屋根・外壁改修工事

No	施設名称	建物名称	令和5年度 ～令和9年 度（千円）	令和10年度 ～令和28年 度（千円）	今後5年以内 に予定される 主な工事等
36-3		防災備蓄倉庫 No.11	333	340	屋根・外壁改修工事
37-1	旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	旧父島診療所 CT棟（防災倉庫）	0	2,034	
38-1	防災備蓄倉庫（小笠原村診療所）	防災備蓄倉庫 診療所倉庫コンテナ	0	1,087	
39-1	防災備蓄倉庫（情報センター内）	防災備蓄倉庫（情報センター内）	0	324	
40-1	防災備蓄倉庫（高校）	防災備蓄倉庫 No.5	0	10,996	
40-2		防災備蓄倉庫 No.10	333	340	屋根・外壁改修工事
41-1	三日月山中継局	三日月山中継局（局舎）	0	320	
42-1	防災備蓄倉庫（評議平運動場1）	防災備蓄倉庫（評議平運動場）	0	216	
43-1	防災備蓄倉庫（評議平運動場2）	防災備蓄倉庫 評議平運動場コンテナ	0	216	
44-1	防災備蓄倉庫（母島診療所1）	防災備蓄倉庫（母島診療所1）	0	333	
45-1	防災備蓄倉庫（母島診療所2）	防災備蓄倉庫（母島診療所2）	0	333	
46-1	母島ヘリポート管理小屋	母島ヘリポート管理小屋	0	403	
47-1	中ノ平中継局	中ノ平中継局（局舎）	0	1,497	
48-1	防災用コンテナ（中学校）	防災用コンテナ（中学校敷2基）	0	399	
49-1	防災用コンテナ（高校）	防災用コンテナ（高校）	0	199	

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度(千円)	令和10年度～令和28年度(千円)	今後5年以内に予定される主な工事等
		敷1基)			
50-1	村営住宅1号棟(一時宿泊所)	村営住宅1号棟(一時宿泊所)	0	0	
51-1	村営住宅2号棟(硫黄島一時宿泊所)	村営住宅2号棟(硫黄島一時宿泊所)	0	164,267	
52-1	奥村医師住宅A号棟	奥村医師住宅A号棟	406	43,202	
53-1	奥村医師住宅B号棟	奥村医師住宅B号棟	406	42,337	
54-1	奥村医師住宅C号棟	奥村医師住宅C号棟	0	3,405	
55-1	医師住宅	医師住宅	13,000	56,733	内装改修工事
56-1	歯科医師住宅	歯科医師住宅	0	7,973	
57-1	清瀬職住8号棟	清瀬職住8号棟	0	418,225	
59-1	清瀬職住10号棟(医療従事者住宅)	清瀬職住10号棟	0	15,859	
60-1	清瀬職住11号棟	清瀬職住11号棟	0	4,566	
61-1	奥村職住3号棟	奥村職住3号棟	0	13,363	
62-1	奥村職住4号棟	奥村職住4号棟	0	10,665	
63-1	奥村職住5号棟	奥村職住5号棟	0	13,187	
64-1	奥村職住6号棟	奥村職住6号棟	0	11,897	
67-1	宮之浜道職住	宮之浜道職住2号棟	0	7,482	
68-1	西町職住	西町職住1号棟	0	7,828	
69-1	三日月荘	三日月荘	19,311	428,767	
70-1	三日月山職住	三日月山職住	0	15,536	
71-1	沖村職住4号棟	沖村職住4号棟	0	0	
72-1	沖村職住6号棟	沖村職住6号棟	0	5,467	

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度(千円)	令和10年度～令和28年度(千円)	今後5年以内に予定される主な工事等
73-1	沖村職住7号棟	沖村職住7号棟	7,281	131,636	
74-1	沖村職住8号棟	沖村職住8号棟	5,207	94,139	
75-1	沖村職住9号棟	沖村職住9号棟	0	0	
76-1	沖村職住10号棟	沖村職住10号棟	0	76,727	
77-1	沖村職住11号棟	沖村職住11号棟	0	9,535	
78-1	沖村職住12号棟	沖村職住12号棟	1,767	4,835	
79-1	父島クリーンセンター	父島クリーンセンター工場棟	150,000	516,585	長寿命化工事
79-2		父島クリーンセンター車庫棟	0	3,563	
79-3		父島クリーンセンターストックヤード棟	0	1,909	
80-1	父島埋立処分場	父島埋立処分場浸出水処理棟	0	8,829	
81-1	母島リレーセンター	母島リレーセンター中継棟	7,544	12,583	
81-2		母島リレーセンターストックヤード棟	1,270	2,352	
82-1	父島火葬場	父島火葬場	0	11,407	
83-1	母島火葬場	母島火葬場	1,087	35,126	
84-1	便所(父島夜明山便所)	便所(父島夜明山便所)	0	326	
85-1	便所(母島北港)	便所(母島北港)	2,088	0	撤去工事
86-1	便所(母島東港)	便所(母島東港)	1,000	0	撤去工事
87-1	便所(母島南崎)	便所(母島南崎)	0	76	

No	施設名称	建物名称	令和5年度～令和9年度(千円)	令和10年度～令和28年度(千円)	今後5年以内に予定される主な工事等
88-1	硫黄島平和祈念会館	硫黄島平和祈念会館	0	18,097	
89-1	硫黄島島民平和祈念墓地公園	硫黄島島民平和祈念墓地公園	0	1,511	
90-1	大根山公園	大根山公園休憩舎	0	4,141	
91-1	清瀬増圧ポンプ場	清瀬増圧ポンプ場	708	19,980	
92-1	奥村水道倉庫	奥村水道倉庫	0	3,134	
93-1	新扇浦浄水場	新扇浦浄水場 管理棟	0	7,597	
93-2		新扇浦浄水場 薬品棟	0	6,835	
93-3		新扇浦浄水場 イオン交換棟	0	4,070	
93-4		新扇浦浄水場 脱水機棟	0	5,056	
93-5		新扇浦浄水場 倉庫棟	0	1,393	
94-1	沖村浄水場	沖村浄水場 管理棟	0	6,737	
94-2		沖村浄水場 棟浄水機棟	0	11,254	
94-3		沖村浄水場 着水井上屋	0	2,770	
95-1	父島し尿処理場	父島し尿処理場増築棟	0	6,040	
95-2		父島し尿処理場管理棟	7,251	23,613	外壁改修工事
95-3		父島し尿処理場	0	258,448	
95-4		父島し尿処理場水質試験室	0	35,871	
96-1	清瀬中継ポンプ所	清瀬中継ポンプ所	1,161	32,754	
97-1	大村中継ポンプ所	大村中継ポンプ所	1,161	32,754	
98-1	奥村中継ポンプ所	奥村中継ポンプ所	357	10,083	

No	施設名称	建物名称	令和5年度 ～令和9年 度（千円）	令和10年度 ～令和28年 度（千円）	今後5年以内 に予定される 主な工事等
99-1	母島し尿処理 場	母島し尿処理場管理棟	5,960	226,497	
99-2		母島し尿処理場脱水機棟	564	76,244	
99-3		母島し尿処理場沈殿地ポンプ室	1,172	33,067	
99-4		母島し尿処理場車庫	785	22,148	
99-5		母島し尿処理場危険物倉庫	138	3,892	
99-6		母島し尿処理場薬品注入室	0	214	
100-1	母島中継ポンプ所	母島中継ポンプ所	1,876	249,538	

第7章 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

1 計画の進捗管理と庁内連携について

本計画において個別施設ごとに具体的に示された対策の取組予定と、各年度における対策の実際の進捗状況を比較・確認し、更新していくことによって、計画の適切な進捗管理を図ります。

なお、本計画に記載している対策については、各施設の所管課が主体となって実施します。統廃合や複合化等の施設の再編に関する取組については、総務課企画政策室が全体の統括や調整の役割を担い、各施設の所管課や関連部門と連携しながら推進します。

2 個別施設計画の改訂について

原則は5年おきに進捗管理結果の取りまとめを行い、進捗状況を確認し、公共施設等総合管理計画や第4次小笠原村総合計画の検証や見直しとの整合性を図るため、個別施設ごとの対策の進捗状況を踏まえつつ、本計画についても取組予定を再検討する等の見直しを適宜（必要があれば毎年度でも）行います。

3 計画の実現に向けた他計画との整合性について

本計画の実現に向けては最上位計画で小笠原村総合計画と連動し、整合性を図りつつ、総合的かつ計画的に取り組むこととします。

また、総合管理計画改訂時には、本計画及び他の個別施設計画とも調整の上、村全体の公共施設のあり方等を踏まえて、財政負担の軽減化・標準化に努めつつ、公共施設全体の最適配置の実現に向けて取り組みます。

□.....□

小笠原村 個別施設計画

令和5年3月

発行・編集：小笠原村総務課企画政策室

〒100-2101 東京都小笠原村父島字西町

TEL：04998-2-3111

□.....□